



自由之理

第二冊上

4
3551
2



門口
號 3551
卷 2



自序

凡事不可無限界。唯愛不可有限量。此意也。西賢倍
 根言之於二百禩之前。而今宇內文明諸邦之婦人
 亦能口之矣。此書論政府之權。當有限界。明白詳備。
 故余別舉當無限者言之。夫愛不可有限量。
 上帝愛人無有限量。故人亦當愛。上帝愛人無有
 限量。愛。上帝之事。姑置不論。請言愛人一端。吾之
 靈魂與五官四肢。明係神之妙造。為永遠無疆之
 洪賜。審思此則自愛之心。油然而生。君親朋友一國
 之人。天下之人。皆為神所造。與吾同。審思此則親

愛之心。淳然而生。蠻夷之民。容易自殺。故亦容易殺
 人。開化之民。真正自愛。故亦真正愛人。自愛之心。與
 愛人之心。不獨並行。而不悖。實相須。以生長。何謂自
 愛。曰。正心誠意。全靈魂之真。克己復禮。存肉體之欲
 是也。何謂愛人。曰。愛人如己。施貧者。救病者。貴不凌
 賤。多不暴寡。強不犯弱。大不侮小。寬弘而不猜忌。公
 平而不偏頗。真實而不詐偽。謙讓而不驕矜。溫厚而
 不暴慢。相交以衷。不相隱藏。相下以禮。不相侵侮。憐
 愚人而誘迪之。哀罪人而教誨之。愛同儕則相推以
 赤心。憫敵己者則施善以化之。心口合一。內外無間。

不存彼我。不別自他。苦心圖謀者。盡是邦國公同之
 益。勞力經營者。不外民人共享之利。凡為此等愛人
 之事。唯患心力之不至。尚何有限量之可議乎。竊嘆
 東洋諸邦。人民迷々不知。神而唯務與人角。故愛
 人之心。每病于不廣。不深。才氣高則睥睨一世。功名
 成則較輾千古。權威得則侵暴寡弱。意見立則好同
 惡異。士大夫或私智自用。而不謙虛。以下人工藝之
 人。同業相忌。而不降挹。以求益。商賈各相傾軋。而不
 合同。以要利。沿習成風。為日久矣。吾邦人民。近駸々
 向學。如昏夢頓覺。他日知識進於深奧。而愛人之心。

無^ク有^ル限^リ量^シ情^ヲ親^ク而^シ力^ヲ合^ス力^ヲ合^ス而^シ事^ヲ成^ス神^ノ人^ノ交^ハ和^シ福^ヲ祚^ス昌^ク盛^ク其^ノ可^ク庶^ク幾^ク已^ス

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

自由之理卷之二

思想及ビ議論ノ自由

神聖心道書



昔ハ^リル^レテ^イラ^フラ^レス^キ隨^キ意^ニ著^ス述^ヲ出^ス板^ニス^ル即^チ板^行

ノ自由ヲ以テ政府ノ暴虐ヲ防グ爲ノ必要ノ具トナシコ

ノ自由ヲ失ハザラントテ百方捍禦セシガ當時ハ板行ノ

自由ハ尋常ノ事トナリタレバ議論スルニ及バズ昔ハ政

府ニテ法ヲ立テ法ヲ行フコノ二者トモ人民ノ利益ト

相反シ又政府ニテ己ガ意見ヲ以テ規則ヲ立テ人民ヲシ

テコレヲ守ラシメ又政府ニテ如此^ノ教道^ヲ從^マベク^カ如^シ

此^ノ議論ヲバ聽クベシト人民ノ爲ニ指シ定メタリシガ

當時ハカ^レル^弊事^息タ^レバ^コレ^マタ^ハ辯^駁ス^ルニ^及バ^ズ

自由之理卷之二

日權勢既
不合於道
理

昔レ英國ノ官府嘗テ人民ノ國政ヲ議スルヲ禁ゼシコ
リシカモ特ニミニストル大騷亂ヲ懼ルヨリシテカクノ如
キ非禮ナルコトヲ爲シタルノミ。畢竟政體ノ善キ國ハ官府
ニテ人民ノ意見リ議論ヲ管轄スルコトアルベカラザル理ナ
リ。但レ國人ニ同ニ許容セザル議論アル時ハ國人ニ代リ
ソノ議論ヲ禁ズルコト稀ニアルノミ。問テ曰ク然ラバ官府
ニテ全ク國人ノ意ニ一致シ國人ニ代リテ發言スル場合
ニテハ權勢ヲ以テ他人ノ議論ヲ阻壓シテ宜シカルベキ
ヤ。答テ曰ク然ラズ。人民ト官府トノ差別ナク凡ソカクノ
如キ強迫禁阻ノ事ヲ行フハ當然ノ道ニ非ズ。權勢トイヘ
ルコト畢竟道理ニ合ハズ。極善ノ官府ニテモ權勢ヲ用フレ

バ極惡ノ官府ト稱セラルベシ。官府ニテ國人ノ衆論ニ一致
シ。權勢ヲ行フハソノ邪惡タルコト。衆論ニ抵抗スルヨリモ
甚シトスタトヒ。天下ノ人ノ意見リミナ同一ニシテ獨リ一人
ノ意見異ナリトモ。コハ一人ヲ壓抑シソノ口ヲ閉テ言ヲ
得ザラシムハレバ大ニ公義ニ叛ケリ。且コレノミナラズ。意
見議論ハコレヲ有テル人ノミニ止リ。他人ニ利益ナキコ
トナレバ異説ヲ禁ズルコトモソノ妨害ヲ受ルモノ。際限アル
ベケレドモ。コハ新説異見ヲ禁壓シ發言スルヲ得セシメ
ザルハ大害ハ。單特奇抜ニシテ他ニ比類アルベカラズ。コ
ノ害ハ人類ヲ賊ナヒ。今世ノ人ヲ奪ヒ。後世ノ人ヲ害スル
ナリ。蓋レソノ禁ズル異説設是ナラバコレ天下ニ是ナル

禁新見異
說其害不
見有倫比

道理ハ現ルハ好機會ヲ奪ハナリ。ツノ禁スル新見。設非ナ
ラバ。コレツハ謬誤ト相觸テ真理マス。明白ナルヲ得ル
大利益ヲ失フナリ。○コノ二項ノ設詞異説設レ是ナラバ
第一項異説設レ非
第ニ項ヲ別々ニ思想スベキヲ要ス我等糖塞セント欲ス
ル他人ノ意見ト雖モ。敢テ謬誤ナリト固ク決シテ言フ。非
ズ。若我等コレヲ決スルトキハ。ツノ糖塞スル。即チ一箇
ノ惡事トナルベシ。

今意見議論ノ新ニ出ルモノアリテ。權勢ヲ以テコレヲ壓
抑スル。トノアランニ。若ツノ壓抑セラル。トコロノ説。真
確ナレバ。コレヲ壓抑スル人ハ。真確ノ説ヲ非ナリトシテ。
自ラ謬見ニ入ルナリ。畢竟權勢アル人ト雖モ。天下ノ人ノ

公論不必
是

疑案ヲ定斷スル。權勢ハアラザルベク。又人々ヲシテ各自
ラ判斷スル。トヲ禁ズル。權勢ハアラザルベシ。蓋シ官府ニ
モセヨ。平民ニモセヨ。已ニ異ナル意見ヲ聞。トヲ嫌フハ。已
ガ意見ヲ真確ナリト擅マ。ニ自ラ定ムルナリ。凡ソ異説
ヲ禁ズルハ。已ガ説ヲ謬誤ナキモノト思ヒ。自ラ固ク信ス
ルナリ。ソノ異説ノ人ヲ罪スルハ。衆民ノ公論ヲ聽コレニ
從フナリ。コレ公論ナレバ。惡カルマシト思ヒ。カクスルナ
リ。然レモ國中ノ公論ナリトテ。總體謬見ニ入リテ。自ラ知ラザ
ルモノアリ。察セザルベカラズ。
凡ソ人。好キ意思アレモ。不幸ニシテ謬誤ニ入ル。トアリ。ソ
ノ謬誤ニ入ル所以ハ。實ニ用ラレベキ判斷ヲ重ンゼズシ

テ空理ノミニテ濟^ツ置^クニ由リ蓋シ人々自ラ謬誤ニ入^ル易
 キヲ知^ルト雖^モ凡^ソノ謬誤ニ入^ルヲ免^カレンガ爲^スニコレヲ預
 防セザルベカラズト思フ人ハ寡^シマタ自ラ眞確ナリト
 スルトコロノ意見^ヲイヅクンゾ謬誤ノ意見ナラザルヲ知
 シヤトカク憶^ス度^スル人ハ寡^シ蓋シ始メ是ナリト思ヒシ
 説^ヲソノ實ハ不是ニシテ後ニコレヲ悟ル^トソノ例^{多ク}ア
 リサレバ吾^ガ今^是トスルモノイヅクンゾ非ナラザルヲ知
 シヤト思フテ已^ニ異ナル説ヲ容^ル人ハ寡^シ大抵ハ泊^已
 ノ説ヲ主張シテ疑ハヌモノナリ就^中君權無限ノ國ニテ
 ハソノ帝王常ニ無限ノ尊奉ヲ受^ルニ慣^ヒ萬事ミナ全ク
 已^ガ意見^ヲ是トシコレヲ信スル^トユエ謬誤アリトモコ
 ン

所謂一世
甚狭

レヲ知^ルニヨシナシ邦國ノ中ニテ人民ノ幸ナルモノハ
 ソノ意見時ニ他人ニ論駁セラレソノ説ノ不是ナルモノ
 ヲ改メソノ是ナルモノニ從フモノナリカクノ如キ人ハ
 閑居獨處ニテ考^思定^斷スルモノヲ敢テ以テ自^ラ是^トセ
 ズシテ遍クコレヲ一世ニ問ヒ正^シ吾ガ意見ノ衆ニ許^可
 セラル^トモノ丈^ヲ信ジテソノ他ニ及バヌ^トナリコレ全
 ク自^ラ是トスルヨリハ勝^ルベケレモ未ダ議スベキモノ
 アリ何^ニトナレバソノ所謂一世ナルモノハソノ人ハ觸^ル
 ハ^ハコ^ロ逢^フトコロハ一分ヲ指セルハ^シ即チソノ黨類
 ソノ教法ソノ教會ソノ會社ヲ指シテ一世トイヘルノミ
 全世界ニ非ズソノ中ニ寛心大量アリト稱セラル^ト人ト

雖^レ凡^ソノ^レ己^ガ國^己ガ世^人是非スルトコロヲ許容スルノ
 ミ。蓋シ總體歸向スルトコロノ意見議論ヲ信ジテ、ソノ他
 ニ及バズ。故ニタトヒ他國ノ黨類、他國ノ教法、他國ノ教會
 ニテ全クソノ説ト反對スルモノアリトモ、コレヲ以テ、少
 シモ、己^ガ信スル黨類ノ説ニ謬誤アリヤ否ヤト、内ニ自^ラ
 省^ミル^{コト}ナシ。レカノミナラズ、コノ人、ソノ國ノ意見議論
 ヲ以テ是トナシ。固クコレヲ守リ、他國ノ異説ヲ以テ、非ト
 ナシ。務テコレヲ拒ギ、カクシテ自^ラソノ職任ヲ盡セリト
 思ヘリ。且^ツ天下諸國ニ許^多ノ意見、教門、アル中ニ、己^ガ信^伏
 スルトコロハモハハ偶然、我が出逢^ヒシモハニハアラズヤ
 ト念慮ヲ掛^ケザル^{コト}ナリ。マタ偶然ニ倫敦ノ教會ノ徒トナ

凡人其論
 同其非

リシトナラバ、北京ノ人、偶然ニ孔子或ハ釋氏ノ徒トナル
 ト。同シ縁故ナリト。思ハザル^{コト}ナリ。カクノ如ク、大抵、人ハ
 吾ガ一己ヲ信ゼスシテ、己^ガ出逢^フ一世ノ説ヲ信ジ、既ニ
 一世ノ説ヲ信スル上ハ、コレニ異ナル外、邦ハ説ヲ容ザル
 モハナリ。然^レドモ、昔ヨリ舉世ノ説ト雖^レ凡^ソノ謬誤ヲ免カ
 レザル^{コト}、單獨一人ノ説ノ謬誤ヲ免カレザルト同ジキト。
 ソハ^レ機^少カラス。今世ニテ妄誕浮泛ノ説ト爲^テ擯棄スル
 モハ^レ昔時ニテハ定論ト立テ定^ジ類多クテレバ、今一般ニ
 善ト許セル許多人意見モ、後世ニイタラバ、マタ擯棄セラ
 ル^ハモ知ルベカラズ。且^ツ凡^ソノ^レ己^ガ國^己ガ世^人是非スルトコロヲ許容スルノ
 予^ガ議論ヲ駁スルモノ、必^ズ次ニ言^フガ如クナルベシ。曰

一世之説
 不免謬誤

ク。謬説ノ傳播ヲ禁ズルコトハ。吾輩ノ責任ナリ。是非ヲ判断スルタメニ。人ニハ意見アルコトナレバ。ソノ判断ニ謬誤アルベキヲ恐レテ。吾ガ意見ヲ以テ判断スルコトヲ。一概ニ用フベカラズトハ言ガタカルベシ。サレバ。吾輩ハ。コレハ害アルモノト思フ説ヲ禁ズルコトハ。錯謬ニ入ルヲ免カレンヲ欲スルニ非ズ。吾ガ當然ノ本分ヲ盡サントスルナリ。タトヒ吾ガ意見。謬誤アルニモセヨ。吾良心ニ許セルモノヲ行フナリ。モレ謬誤アランコトヲ恐レ。吾ガ意見ノ善トスルモノヲ行ハザルトキハ。吾ガ利益アルベシト思フモノヲ捨去テ。吾ガ職分ヲ盡ストハ得ザルベシ。故ニ政府并ニ銘々人民ノ職分ハ。吾ガ出來ル丈。謹テ真確ノ意見ヲ考ヘ出シ。十分ニ間

好同惡異
之人其論
如此

違アルマジト思フ上ハ。コレヲ他人ニ及ボシ。ソレヲシテ已ニ從ハシムルコトナリ。マタ吾心ニテ。コレハ異説ニシテ世ニ害アリト思フコトハ。ソレヲ禁ジテ。傳播スルコトヲ得ザラシムベシ。然セザルハ。コレ怯心ナルナリト。言テ。吾論ヲ辯駁スベシト思ハル。ナリ。コレニ對ヘテ曰ク。カクノ如キ説ハ。自ラ驕矜スルノ甚シキモノトイフベシ。抑モ二箇ノ大ニ異ナルモノアリ。ソノ一ハ。自ラソノ意見ヲ他人ニ論駁セラレシコトヲ欲スレド。他人ニ論駁セラレザルニ由リ。吾ガ説ヲ確實ナルベシト。估量スルナリ。ソノ一ハ。他人ノ異論駁議ヲ容スレテ。吾ガ意見ヲ真實ナリト。自ラ恃ムコトナリ。コノ二者。ソノ是非。辯ゼ

衆異由自由而生真理由衆異而見

ズシテ明ナリ。蓋シ他人ヲシテ。吾ガ意見ヲ駁シ。吾ガ議論
カ非トスルハ十分ハ自由アラシムザルベカラズ。行事ノ爲
ニ真理ノアルトコロヲ求ムル。コレヲ除キテ。外ニ得ラ
ルベキノ道アラズ。

人生ノ意見議論。人生ノ日用行事。世代ヲ經ニ隨ヒ次第ニ
善クナリ上進スル。ハ何ニ由ルヤト。ソノ所以ヲ察スルニ。
人々ニ固有スル悟性アル故ニ由ルトハ。慥ニ言カタシ。何
トナレバ。自然明了ナラザル事ハ。何ニカギラズ。九十九人
ハ。コレヲ判斷スル。能ハズ。タゞ一人。能コレヲ判斷スル
ヲ得ルノミ。即チコレ。百人ノ中。一人ノ才能ノミ。他ノモノ
ト比較スル。トニ用ヒラル。ナリ。且古ヨリ有名ノ人。今ハ

世道之上進由于人之心之遷善改過

謬誤ナリトシテ。世ニ著シキ意見ヲ執リ。今ハ誰モ善ト許
サル議論ヲ善ト思ヒシナリ。カク次第ニ謬誤ヨリシテ。
真確ニ近ヅキタルハ。總體世ノ中。理ニ合フ意見。理ニ合フ
行狀ニ於テ。輕重ヲ比較シテ。ソノ重キモノニ傾ムキ。次第
ニ誤ヲ改メタルニ由リ。蓋シコノ輕重ヲ秤リ非ヲ改メ。是
ニ遷ルハ。人心ニ具ハル一徳ニシテ。人ノ靈タル所以ノモ
ノナリ。人能ク辯論ニ由テ。ソノ謬誤ヲ改メ。能ク經驗ニ由
テ。謬誤ヲ正ス。經驗シテ知トコロアリト雖。必ズ辯論ス
ルヲ待テ。ソノ事始テ講明セラル。モノユエニ。辯論ト經
驗ト。コノ二者トモニ欠ベカラズ。謬誤ノ意見。謬誤ノ行爲。
漸々ニ實事ト確據トニ屈服シテ。正ニ歸スル。ナリ。抑モ

人ニ是非ヲ判断スルノ心アルハ。人ノ非ヨリ是ニ移ル所
 以ノ本質ニシテ。フノ是ナリト思ヘルトコロニ。倚信ノ心
 ヲ置リ。凡ソ人。某ノ事ニ於テ。如此如此ト判断スルハ。間違
 アルマシト。自ラ信ズルハ。何ニ由リテカクナルヤ。コレ他ナ
 シ。コノ人ハ。フノ心ヲ虚シテ。己ノ意見己ノ行狀ヲ非難ス
 ルモノヲ容レ。歴クフノ反對ナル議論ヲ斟酌商量シ。自己
 ノ説ニ謬誤アルモノヲ看出シ。コレヲ討論シ。他人ノ説ノ
 中ニテ。公正ナルモノハ。アレバコレヲ擇ビ。取リ自己ハ裨益
 トセリ。蓋シコノ人以爲人タルモノ。何ニ限ラズ。一事ニ即
 テ。フノ全體ヲ知ルニ庶幾カルベキ所以ノ方法ハ。他ナシ。
 フノ事ニ即テ。他人種々ノ意見ヲ聴納シ。各様ハ人心ニテ

即是擇善
良法

種々意見
各様人心
各様考察
集而大成
之

各様ニ考察スルトコロヲ悉ク集ムルニアルハ。古ヨ
 リ聰明叡智ノ人ト稱セラル。モノ。コレヲ除テ。聰明叡智
 ヲ得ラルベキヤウナク。マタ人心ノ靈ナル。コレヲ除テ賢
 智ニ進ムベキノ道ナシ。抑モ自己ノ意見ヲ主トシテ。他人
 ノ異論ヲ拒ムコトナク。却テ喜テ他人ノ異論ヲ集メ。自己ノ
 意見ト。互ニ相勘合シテ。フノ謬誤ヲ正シ。缺漏ヲ補ヒ。コレ
 ヲ實事ニ試ム。カクノ如キコトヲ。反復繼續シテ行フトキハ。
 吾胸中ニコレコトノ真理ナルベシト倚信スル基礎。次第ニ
 立ッヲ得ベシ。イカニトナレバ。フノ事ニ即テ。歴ク地球。上
 ノ異説ヲ聞キ。駁議ヲ受タル上ニテ。吾説非ナレバ。フノ是
 ナルモノニ從ヒ。吾説是ナレバ。一世ノ説ノ非ナルヲ知リ。

著眼在一
異字

自己ノ考思判断ヲ以テ正ト爲ストモ。過テリトイフベカラ

ス。聖賢トモ稱セラレベキホドノ人ハ固ヨリフノ一己ノ考

思定斷ニ倚信シテ事足ヌベシト思ハルガサハナク。矢

張^{ハリ}ハリク^ト喚^ヨ做^ル。智^チ少^ク愚^ク多^ク萬民ニ謀リカレ等ガ同意

シタル上ニテ方^マニフノ説ヲ是^ト定メリ。羅馬^ロ加^カ特^ト力^カノ教

會ハ尤モ異説ヲ容忍セザル教會ナレバ然^シモ教徒ノ聖ナ

ルモノニ^セイ^ト聖^人ト云^フノ號ヲ贈ラント欲スルトキハ必

ズ惡鬼^反論^對スル^言ヲシテ議論ヲ縱^マニセシメ容忍シテ

コレヲ聽キ凡^ソ所有^{アル}異説ヲ知リ駁議ヲ斟酌シサテフノ

上ニテ封贈シテ聖人トスルナリ。牛^ウ董^ト派^ンノ理學ノ如キ

コレヲ疑ヒ駁スルモノヲ准シテ十分ニ非難セシメタル

ガユエニ今ニテハ世上一般ニフノ理論ノ真ナルヲ信ス

ルニ至レリサレバ凡^ソ吾^ガ是^ト思フ説ニテモコレヲ世界

ノ人ニ言ヒ顯ハシ遍^ク吾^ガ非^ヲ辯駁センコトヲ乞望ミソノ

議論ヲ受ル上ナラデハ堅ク信スル場合ニハ至ラザルベ

シ。蓋シ他人ノ辯駁ヲ招キ吾^ガ説ノ非ナルトコロヲ改メ他

人ノ是ナルトコロヲ取り決シテ一物一事ヲモ慢^カ易^クニセ

ス。真理ヲ檢索スル機會ヲ失ハスタトヒ既ニ真確ナリト

思フトモ更ニ又真確ノ理アルベシト吾^ガ心ヲ虛^クシテ真理

ヲ接納センコトヲ務ムベキナリカクセバ今日ニ於テ出來

ベキ丈^タ真理ニ近ヅクコトヲ得ベシ人ハ謬誤ヲ免カレ難キ

モノナレドモ、コノ道ニ由バ、確實ノ理ヲ求メ得ベク、確實ノ理ヲ求ムルニ、コレヲ除キテ、外ニ道アルベカラズ。怪ムベキハ、世人ノ習ナリ、他人ヲシテ隨意ニ已ガ説ヲ議論スルコトヲ許セドモ、盡頭極處マデ辯駁ヲ受ルコトヲ欲セス。畢竟論シ詰タル上ニテ善ラザレバ、ツノ道理ノ善ニハアラザルコトナレドモ、コレニハ心付ヌコトナリ。又怪ムベキハ、諸凡ソ疑アルベキ事ニ於テハ、他人ノ自由ニ議論スルコトヲ許セドモ、ツノ自ラ確實ナリト思ヘル一箇ノ道理一箇ノ教法ニ於テ、他人ノ疑問ヲ入ルコトヲ許サズ。蓋シ確實ナルガ故ニ、マタ異論ヲ容ルベカラズト為リ。然レコレ自己ト吾説ニ同ジキ黨類ノ一方ノ論ノミヲ知り、他ノ一方ノ

論ヲ聞カスシテ、自ラ確實ナリト擅ニ定ムルナリ。モシ他人ヲ許シテ辯駁ヲ為サシメバ、ツノ確實ナラザルトコロヲ論スベシ。コレヲ許サヌハ、自己ノ判断ノミヲ信ズルナリ。豈ニ怪シムベカラズヤ。

今世ニ於テ、總體人民ツノ信ズル説ヲ以テ、必ず真確ナリト思フヨリハ、ツノ説ノ國中總體ニ必ス利益アリト思フ心多シ。故ニ人生ノ福祉ヲ増シガ為ニ、政府ニテコノ信心ヲ維持スルハ、ツノ他ノ利益ヲ保護スルト同ク、ツノ職分ナリト言ル人多クアリ。又往々人論シテ、コノ裨益アル信心ヲ損壞セント欲スルモノハ、唯惡人ノミサレバ、カクノ如キ惡人ノ所行ヲ禁ズルハ、當然ノ事ナルベシト云リ。カ

クノ如ク考思スルハ。教道ノ真確ナリヤ否ヤトイフ疑問
ヲ主トセズシテ。ソノ利益アリヤ否ヤトイフ疑問ヲ主ト
スルナリ。然レドモ。カクシテ自ラ誤謬ナシト思フモノハ。
ソノ説。彼ニ轉ジ。コレニ移リ。真確ナルモノヲ認得ベカラ
ズ。蓋シ利益ト真確トハ。互ニ相獨立セス。故ニ律法或ハ公
論ニテ。コレハ真確ナラザレドモ有用ナリトスル説ハア
ラザルコトナリ。

人ソノ自己ノ判断ニテ。コレハ惡説ナリト思フガユエニ。
ソノ説ヲ聽クヲ肯^カンゼザルハ。大害ナリト云コト今コ、
ニ意見ノ自由ヲ嫌ヒタル例ヲ引テ説キ明スベシ。○無形
ニシテ妙有ナル神アリト信スルコト。未來ノ事アリト信ス

ルコトノ如キモノ。凡ソカクノ如キ説ヲ駁スル敵人ト辯論
スルトキハ。敵人ニ大利益ヲ與フルモノナリ。蓋シ彼マサ
ニ言ベシ。子ノ教道ハ。律法ノ保護ヲ受ルニ足ラザルヤ。真
一ノ神アリト信スルコト。子コレヲ錯誤ナシト擅マシニ自
ラ定ムルヤ。杯^ト口頭ヲ以テ折服スルヲ務ムルノミニテ。
真心ニツノ是非ヲ看出サントスルニ非ズ。夫レ自ラ錯誤
ナシト定斷スルコトハ。教道ヲ奉スル人ノ性情ニ非ズ。自ラ
錯誤ナシト定斷スルハ。他人ヲ約制シ。己ガ説ニ異ナル一
方ノ説ヲ聽ガズシメシト欲スル人ノ意思ナリ。予コノ自
ラ錯誤ナシト定斷スルコトヲ惡事ト爲テ。世ニ表白セント
欲ス。今コ、ニ誰ニテモ自ラ信ジ人ヲ説誘スルコトアリテ。

我ヨリコレヲ觀レバ偽教ト見ユルノミナラズ。風俗ヲ壞
 リ。神明ヲ褻瀆スル説ト見ヘ。我一人ノミナラズ。世間總體
 ニ。コノ一人ノ説ヲ邪惡ト定ムルガ如キトアラバ。怕ルベ
 キ謬誤ニ入り。惡事ヲ犯サントスルニ。間近シト思ヒ。慎ン
 デコレヲ免カルベシ。蓋シ誤テ律法ノ手臂ヲ以テ尊貴ナ
 ル。教道ヲ拔キ去リ。極善ノ人ヲ誅戮セシ。世々相望ミ。史
 冊上ニ著ルシキトナリ。
 昔希臘ニ瑣格刺底トイヘル聖人アリキ。ソノ講説スルト
 コロ。盡ク當時ノ公論ニ反シ。官府ノ意見ニ違ヒタレハ。大
 ナル抵觸ノ事起レリ。抑モ修身教ノ大家ナル普拉土。理學
 ノ大家ナル亞里斯土的爾。コノ二人ノ如キ。皆瑣格刺底ノ

瑣格刺底

説ニ淵源シ。凡ソ後世聰識アル人。道德アルノ人。瑣氏ヲ山
 斗ノ如ク仰ガザルモノナク。ソノ大名。二千年ノ後ニ至リ。
 益々盛ンニシテ。ソノ生レタル國希臘ノ名ヲ。宇宙ニ揚タ
 リシモ。悲カナ。コノ瑣氏國人ニ殺サレタリ。公會ニテ僉議
 ノ後。瑣氏ヲ鬼神ヲ信ゼズ。妄説ヲ唱フト斷ジテ。コレヲ死
 刑ニ處セリ。ソノ鬼神ヲ信セズトイフハ。瑣氏造物主ヲ以
 テ。神トナシ。ソノ國人ノ信スル許多ノ神像ヲ神トセザル
 エ。エナリ。ソノ妄説ヲ唱フト云ハ。コレヲ訟フルモノニ。少
 年ノ人ノ心ヲ壞敗ストイハレタリ。コレ等ノ罪ニ由テ。生
 民以來未曾有ノ善人ヲ五百人ノ公會ニテ。罪人ト定メ。コ
 レヲ殺シタリケリ。

公論之謬
誤第一證

一人之身
而是非之
見前後易
地

イヒ難カルベシ。今世ノ正教ニ從フ人トテモ、モシ古昔ノ
聖賢ヲ殺ス人ヲ已輩ヨリ惡人ナリト思フトキハ、誤ナリ。
試ニ思ヘ、保羅ハ、上帝教ヲ弘メシ賢者ナレドモ、始ハコノ
教ヲ惡シ、教徒ヲ窘逐セシ人ナリシヲサレバ、保羅ヲシ
テ開悟ノ事ナカラシメバ、正教ノ仇敵トナリ、後世マデ、マ
タ惡人ノ如クニ思ハレシナルベシ。○智識アリ德行アル
人ニシテ、謬見ニ陥イリ、正教ノ仇敵トナリシ例ヲ、今ナホ
一條加フベシ。ソノ人ハ、羅馬帝馬爾加士、壞列留士ナリ。其
心仁愛深ク、百事ヲ處斷スル公正ニシテ、偏頗ナシ。タマサ
カニ過失アレバ、常ニ寬縱姑息ナル一邊ニ失セリ。ソノ著
ハセル書、見識甚ダ高ク、世ノ善教トナレルヲ、上帝道ノ大

馬爾加士

旨ト異ナルモノ多カラズ。教條コソ異ナレバ、上向ノ名バ
カリナル上帝道ノ君主ニ比スレバ、上帝道ノ實ニ近シト
モ云フベキ人ナリシガ、コノ馬爾加士、深ク上帝道ヲ惡ミ、
コレヲ驅逐シタリケリ。馬爾加士、胸襟開豁、度量寬弘。ソノ
品行ノ美ナル、上帝道ニ合ヒタリシガ、獨リ上帝道ヲ看誤
リテ、コノ教ハ、天下ニ益ナクシテ害アルモノト思ヘリ。且
馬爾加士、世ノ風俗ノ惡キヲ悼ミ、務テ人民ヲ結合スル
ヲ以テ、已ガ任ト思ヒ、教訓ヲ施シタレバ、ソノ心オモヘ
ラク。今一箇ノ新教出來リ、人民コレニ從ヘバ、民心ノ結合
セシモノ再ビマタ解散シ、國ニ倫紀ナキニ至ルベシ。サレ
バ我コノ新教ヲ用ヒ、國人ノ唱首トナルカ、然ラズハ、コノ

新教ヲ滅シ。國人ノ迷誤ヲ防グカノ二者ノ一ヲ行ハザル
 ベカラス。カクテコソ帝タルモノ、職ニカナフベケレト
 思ヒタリ。シカノミナラス。馬爾加士。上帝道ヲ以テ。神命ヨ
 リ出タル真教ニハアラスト為シ。十字架ニ死シタル教祖
 ノ記録ハ。怪誕ニシテ信ズルニ足ラストセリ。既ニ信ズル
 ニ足ズトナセシカバ。上帝道ノ人ニ善良ナル新精神ヲ與
 フル勢能ヲ前知スル能ハザリケリ。コ、ニ於テ。コノ温良
 慈善ナル君主ニシテ。而モ理學家ナリシ馬爾加士。敬ンデ
 大號ヲ出シテ。上帝道ヲ禁ジタリ。蓋シコノ事ハ。史冊上ニ
 在テ。尤モ悲哀スベキヲ覺ユ。羅馬帝公斯當丁ノ時ニ。始テ
 上帝道ヲ羅馬ニテ用ヒタリシガ。モシ馬爾加士ヲシテ。コ

レヲ信ジ。立テ國教トナサシメバ。天下ノ情形。イカバカリ
 カ善カリケンモノヲ。シカナラザリシハ。歎カハシキナ
 リ。然レモ。馬爾加士ノ上帝道ノ傳播センコトヲ恐レ。ソノ徒
 ヲ罪スル所以ノ議論ハ。恰モ上帝道ヲ信ズル人ノ異教ヲ
 禁ズルト同ジキナレバ。ソノ謬見ニ入りタルヲ惜ムベ
 シ。ソノ心ヲバ咎ムベカラス。何ニトナレバ。上帝道ノ人ハ。
 ソノ心實ニオモヘラク。上帝ヲ信ゼザルノ教ハ。真教ニ非
 ス。且ツ衆民一致ノ心ヲ離散セシムルモノナリトイヘリ。
 馬爾加士ノ上帝道ヲ禁ズル。マタソノ如ク。偽教ニシテ衆
 民一和ノ心ヲ離散スト思ヒシナリ。抑モ馬爾加士ノ時ニ
 當リ。善惡ヲ識別スルコト。馬爾加士ニ及ブベキ人アラザル

慎勿執己見信公論慎勿以刑法禁異說

ベシ故ニ新説ノ始テ入り凡俗驚キ怪ムノ時ニ當リ獨リ
卓眼遠識ヲ以テソノ善教ナルヲ察知シコレヲ重ンズル
人ハ馬マル爾カス加士ニコソ望マシキニシカアラザリシハ悲ム
ベキコナリコレニ由テ觀ルトキハ今ヨリ後ニテモ新意
見新議論ノ播傳スル時ニ當リ誰ニテモ刑罰ヲ以テコレ
ヲ禁ゼント思フ人ノアランニハ宜シク謹ンデ自ラ省ミ
ルベシ今マデ執ルトコロノ説ヲ真確ナリト估量スルト
勿レ自己ノ説ノミナラス世上一般ノ説ヲ真確ナリト思
ヒ新出ノ説ヲ謬誤ナリト定ムルト勿レ縱ヒ智識一世ニ
勝ルタリトモ決シテ一己ノ説ヲ是トシ斷案ヲ為スト勿
レ試ニ思ヘ馬マル爾カス加士ハ大賢ヲ以テスラ不幸ニシテ大謬

駁我孫説

ニ陥リテ自ラ知ザリシコトヲ
馬マル爾カス加士ノ爲トコロヲ善トハ今誰モ思フマジケレドモ
モシ異教ノ起リタラントキ刑罰ヲ以テコレヲ禁ゼント
欲スレバ正ニ馬マル爾カス加士ハ覆轍ヲ踏ヤウナル事ニ至ルベ
シ慎マザルベケンヤ然ルニ學士我孫曰ク昔ヨリ上帝道ヲ
審逐スル人ハ上帝道ノ爲ニ試験ヲ爲スノ具トナレリソ
ノ度ゴトニ刑法ノ真理ニ敵シガタキヲ知ラシメタリト云
リコノ説ニ泥ムトキハ凡ソ新教異説ノ始テ出ル時審逐
セザレバソノ真理ノアルトコロヲ看出スコト能ハズトイ
フニ似タリ前ニモ引シ例ノ如ク此世ノ道理或ハ神性ノ
道理ヲ看出シ天下萬世ニ利益ヲ予フル大恩人ナリシモ

ソノ生時ニ於テ卑劣ナル罪人ト喚做サレシ如キノコハ
 總麻ヲ着テ哀慟スベキノナルニコノ説ヲ推セバ窘逐ハ
 當然ノ試法コレニ非レバ真理顯ハレズト云フニ似タリ然
 ドモ史冊ノ成跡ヲ案スルニ真理必シモ常ニ窘逐スル人
 ニ勝ツコト能ハズタトヒ一回窘逐セラルハニ由テ末世マ
 デ永ク阻壓セラルコトハアラザレドモ數百年ハコレガ為
 ニ禁抑セララルコトソノ例少カラス復回正教ノ事路暢ヨ
 リ以前ニ二十回バカリ發動セシガ盡ク皆廢滅セラレタ
 リサレバブレスシアノアルイルド亡ボサルワラドルシノ亡ボサルサ
 ナラ亡ボサルアルビヤ法國ノ地名教徒亡ボサルヴラード瑞西ノ地名
 教徒亡ボサルウイックリフノ派ノ人ノ稱ノ教徒亡ボサル戎哈斯殺

昔日之異
 端者即今
 日之正教
 是非何常
 之有

サルソノ徒亡ボサルコレ等ノ唱首トナル人ミナ羅馬教
 ニ抵抗シ新説ヲ立タレバ異端邪説ト名ヅケラレテ剿滅
 セラレシナリ羅馬教ニ比スレバ真理ニ近キモノナレド
 モコレニ勝ツ能ハズシテ凶滅セリソノ後路暢出テ新教
 ト稱スルモノ立タリシガソノ時ニ當リテモ各國所々ニ
 テ新教ノ徒ヲ惡ミコレヲ窘逐スル黨類多ク勝利アリケ
 リ士班意大利和蘭白耳義法蘭西埃士地利ニ於テ新教ノ
 徒ミナ剿滅セラレ英國ニ於テ女王馬利ハ羅馬教ヲ固執
 シ女王以利沙伯ハ新教ヲ好メリ然ルニ馬利死シテ以利
 沙伯位ニ即タルガ故ニ新教ノ基址英國ニ立タリモシ馬
 利生存シテ以利沙伯死シタランニハ恐ラクハ新教ハ剿

滅セラレシナラント覺ユ。羅馬ノ天下ヲ雄視スルノ間、シ
 バ、上帝教ヲ窘逐シタレド、コノ教蔓延スルヲ日ニ益々
 盛ナリシハ、他ナシ。窘逐セラレ、一ハ間斷アレド、傳道ノ
 事ハ繼續シテ已ザルニ由リ。然レ、ソノ殆ンド滅絶セント
 スルヲ屢々ナリキサレバ、真理ハ勢力アリテ、圜圉ニ敵シ、
 危險ニ抗拒スルヲ能ス。謬說ハコレヲ能セズト云ル
 ハ、口頭ノ話說ニテ、徴スルニ足ス。蓋シ人ハ、真理ニ於テ、熱
 心凝固スルヲ必シモ謬說ヲ執ル人ニ勝ラス。ユエニ、律法
 刑罰ヲ以テ、コレヲ恐嚇スルトキハ、一時ハ真理ノ播傳ヲ
 モ禁ズベク、謬說ノ播傳ヲモ制スルニ足ルベシ。故ニ窘逐
 スルニ非レバ、真理顯ハレズトイフ說ノ妄ナルヲコレニ

真理特有
之勝利

テ明ナリ。然ラバ、真理ノ謬說ニ異ナル所以ハ、何如ニゾヤ。
 真理ノ特有スル勝利ハ、安在ヤ。曰ク、真理ハコレヲ亡ボセ
 ド、モ滅セズ久ウシテ彌々彰ハル。謬說ハ決シテ然ル不能
 ハズ。今一箇ノ說世ニ出來リテ、ソノ意見果シテ真理ヲ含
 有スルヲナレバ、タトヒ一回兩回、マタ數回ト窘逐セラレ
 ツノ回ゴトニ、亡滅セラルト雖モ、時代ヲ歴ルノ後、必ず人
 アリテコレヲ看出シ、再ビ世ニ顯ハルベシ。或ハ人アリテ、
 コレヲ攻撃シ、暫時衰廢スト雖モ、忽チ又機會ヲ得テ、日ニ
 益々蔓延シ、遂ニ固ク地歩ヲ占ム。上流ニ居リ、後來諸ハ、
 攻撃ヲ經ルトモ、コレニ抵擋シテ餘アルニ至ルベシ。コレ
 真理ノ特有スル勝利ナリ。

以律法束縛人心今世未可言全無

世ノ人マサニイフベシ。吾輩今日ニ生ル、モノハ始テ新
説異見ヲ唱フル人ニ遇フトモコレヲ殺ス。ハ為ザルベ
シト。又イフベシ。吾輩ノ先祖ハ誤テ聖人ヲ殺シタリシガ。
吾輩ハソノ覆轍ヲ踏ザルノミナラス。ソノ聖人ノ為ニ墳
墓ヲ築キタリト。又イフベシ。吾輩マタ異説ノ人ヲ刑殺セ
ザルベシ。人ノ意見議論ハ刑罰ヲ以テ禁セラルベキノ理
ナシト。カクノ如ク自慢シテ言フナレバ。畢竟今世ニ至リ
テモ。律法ヲ以テ人ノ意見ヲ束縛スルノ惡弊。ナホ未ダ已
ザルヨナレバ。コレヲ以テ自ラ譽ルハ當ラヌナリ。今ソ
ノ例ヲ舉ンニ。一千八百五十七年ノ夏。高奴瓦泉臺衙門ニ
テ。トマス。プーレトイヘル人ノ罪ヲ斷ジ。二十一箇月ノ入牢

ヲ命ジタリ。コノ人平生ノ行事ニ於テ。過惡アルニ非ス。タ
ゞ西教ノ事ニツキテ。謗言ヲ發シ。マタ門上ニ謗言ヲ録セ
シニ由テ。コノ罪ヲ得タリ。斷罪ハ七月三十一日ノ事ニシ
テ十二月ニ女王ヨリ赦免セラ
ル。コノ事ノアリシ同月。ヨールド。ベイレイ。ニ於テ。二人。ツノ一
人ノ名ハ。ジョーヂ。ジェーゴフ。ホレートク。ツノ一人ハ。平トワ。ドルーラフ
トイフ。コノ二人。陪審官トナリシガ。自ラ我ハ上帝道ヲ信
ゼズト宣言セシカバ。按察司及ビ會中ノ一人ニ。大ニ凌辱
セラレタリ。又嘗テ一ノ外國人アリ。盜賊ニ逢ヒ。物ヲ奪ハ
レ。コレヲ公廳ニ訟ヘシガ。コノ人自ラ神ヲ信ゼズトイヒ
シニ由テ。ソノ訟案ヲ卻ケテ。盜賊ノ吟味ニ及バザリケリ。
コレ他ナシ。英國ノ律例ニ。凡ソ人。上帝ヲ信ジ。來世ヲ信ス

自由之理第二卷

十八

ルヲ明カニ自ラ認メザルモノハ。刑法院ニ於テツノ証
 詞ヲ取り上ケザルヲナルガ故ナリ。蓋シコノ意ヲ推セバ。
 上帝ヲ信ゼズ。來世ヲ信ゼザルモノハ。法外ノ人ト定メ。刑
 法院ニテ。コレヲ保護セズ。タトヒ。ソノ人。或ハ搶奪ニ遇ヒ。
 或ハ殘害ヲ蒙ムルトモ。コレヲ奪ヒコレヲ害スルモノハ。
 罪ヲ問ハズトイフニ同ジ。コレ豈ニ律法ヲ以テ人ノ意見
 ヲ束縛スルニ非ズヤ。抑モカクノ如キ律例ヲ設クル主意
 ハ。來世ヲ信ゼザルモノハ。ソノ誓言。信ズルニ足ラズトイ
 フヲナレドモ。古世ノ史冊ヲ觀ルニ。忠實正直ナル人ニシ
 テ。宗門ノ信ナキモノ。少カラズ。オアリ徳アルノ人ニシテ。
 來世ヲ信ゼザルノ人。少カラズ。サレバ來世ヲ信ゼザルモ

ノヲ。盡ク詐偽ノ人トナスベキ理ナシ。且コノ律例ハ。上帝
 ヲ信ゼズ。來世ヲ信ゼザルモノヲ凌辱スルノミナラズ。上
 帝ヲ信ジ。來世ヲ信ズル人ヲ凌辱スルナリ。イカニトナレ
 バ。モシ來世ヲ信ゼザルモノハ。必ず人ヲ欺ムクトイフト
 キハ。來世ヲ信ズルモノハ。タゞ冥獄ヲ懼ル。ニ由テ。欺詐
 ヲ爲サズトイフニ似タリ。夫來世ヲ信ズルノ人。ソノ信實
 ニシテ。欺ムカザルハ。自己ノ良心ニ根ザシ。コレヲ以テ自
 ラ快足スルヲナルニ。モシ冥獄ヲ懼ル。故ニ欺カストス
 レバ。コノ人ヲ卑屈スルヲイカバカリゾヤ。蓋シコノ律例
 ハ。教法ニ根ザシテ立タルモノニシテ。異說ノ人ヲ困迫ス
 ルノ弊アルヲ免カレズ。

自由之理第二卷

十九

狹隘之論
激成叛亂

英國ニ於テ律例ヲ以テ異說ノ人ヲ困迫スルコトゾノ大ナルモノハ、巴タレドモ、ソノ瑣末ナルモノナホ殘レリカ、ル舊キ弊事再ビ發生シ、世間ニ風波ヲ起ス、新利益ノ始メテ興ルモノト、交々相雜ハレ、ルハイカニヅヤ、且ツ當時ニアリテ教法ヲ振ヒ興スナド、イフテ、自ラ誇ルコトハ、常ニ教法ニ拘泥スル狹隘粗莽ナル人ノ議論ナリ、近年印度ニテ、シイポイ歐羅巴風ニ教練シタル土兵ナリ今凡ソ十萬八千四百人アリ、一揆起リシモ、英國總體ノ意見拘泥セシ故ナルコトヲ見ルベシ、コノ時、教師ノ頭人ノ輩相議シ、印度人及ビ回教ノ人ヲ管治スル憲署ニテ、定ムベキ理論ヲ稟白シテ曰ク、バイブル經典ヲ教ヘザル學校ハ、公費ヲ以テ支給セザルベシ、西教ニ從ハザル

人ハ、官人トシテ用ヒザルベシト云リ、又千八百五十七年十一月十二日、アンダー、セクリタリ、ヲス、ステイト丞相ノ次官トイフガ如クナル一人、ソノ僚屬ニ謂テ曰ク、英民一萬萬、宗門信仰ノ自由ノ免許アルコト、正教ノ傳播スルヲ妨ゲ、英國ノ名ヲ卑クスルナリ、自由ノ免許トイヘルコトハ、絶好ノ字ナレドモ、コレヲ妄用スルハ不可ナリト云リ、コノ人蓋シ自由ノ免許ハ、西教中ノ各種ノ宗派ニ止マルベク、他國ノ教派ニ及ブベカラズト思ヒ、カクノ如ク言シナリ、コノ人ニ事ヲ觀テモ、異教ノ人ヲ困迫スルノ弊害、今ハ既ニ止タリナドト、誇テ言フコト得シヤ、前時ヨリ刑罰ヲ以テ人ノ意見ヲ束縛スルコト、實ニ國中總

自由之理第二卷

二十

體ハ耻辱ヲ増スナリ。イカニトナレバ。國中一般ニ行ハル
 一トコロノ意見ニ從ハズシテ。別ニ異說ヲ明カニ認トル人。
 英國ニ於テ。ツノ數。他邦ヨリモ少キナリ。蓋シモシ異說
 ヲ認トルトキハ。律法ノ懼アルノミナラズ。衆人ニ惡マレ口
 糧ヲ得ルヲ能ハザルニ至ル。或ハ人アリテ衣食ノ虞ナク。
 權勢アル人ノ恩顧ヲ願ハズ。國人總體ノ眷愛ヲ希コガハザ
 レバ。公然トシテ。何ノ意見ナリトモ。コレヲ道道出シ。衆ニ異
 ナル說ヲ信スルヲ認トルトモ。更ニ懼ル。一ナカルベシ。
 然レバ。世人ヨリ惡名ヲ取り。謫毀ヲ受ルヲハ。免カルベカ
 ラズ。コレヲ忍ブハ。サマデノ大豪勇ニ非ズトモ能スベキ
 一ナレバ。世ニ誰モ憐愛スルモノナク。歎訴スルトコロナ

キ有様ナレバ。自ラカクノ如キ人多カラヌトハナレリ。
 我等今日ニ在テハ。我等ト意見異ナル人ヲ苦マシメ。コレ
 ニ毒瘴ヲ加フルヤウナル古ノ風俗ハ止止タレバ。異說ノ人
 ヲ待スルヲハ。矢張善カラヌナリ。瑣格刺底ハ。昔シ死罪ニ
 行ハル。然ルニ瑣氏ノ理論ハ。天日ノ如ク外リテ。聲名文物
 ノ世界ニ光輝ヲ放テリ。西教ノ士ハ。昔シ獅子洞ニ投セラ
 レタリ。然レバ。西教ノ會堂ナオアチ。喬木ノ如ク。枝葉蕃茂シテ。ツノ
 他ノ舊フルキ勢力之シキ教派ノ上ニ超超出シ。コレヲツノ蔭中
 ニ遮住スルヲトハナレリ。カクノ如ク。昔日ノ非ハ。今日ノ
 是トナルヲナレバ。今日ノ是ト雖雖レ。コレニ執滯シテ。異說
 ヲ禁ズベカラザルヲ。豈ニ明了ナラズヤ。抑モ今世ニ在テ

ハ。宗門ノ相容エイザルヨリシテ人ヲ殺スコナク。意見議論ノ
 異ナルモノヲ滅絶スルコナシ。然レ人民總體ニ異說ヲ容
 ザルコハ。未ダヒザルユエニ。人ヲシテ内心ニ異說ヲ懷ケ
 凡。表向キハ同論ナル振フヲ為カザルコヲ得ザラシメ。又異說ノ
 人ヲシテ。ソノ意見議論ヲ傳播スルコニ。カヲ極ムルヲ得
 ザラシムルコナリ。抑モ異說ノ人ヲ牢獄ニ入レ。或ハ罰金
 ヲ出サシムルヤウナル不快ナルコ。今世ニハ。ナキユエニ。
 人或ハコレヲ以テ十分ナリト思ヘリ。然ルニ。表向キニテ異
 說ノ人ヲ困迫スルコナシトイヘ。カクノ如キ情狀ニテ
 ハ。世間流行コマラヒルノ說ハ。人ニ障礙セラル。コナク。異說ノ人ハ。
 ソノ理論ヲ述ブルルコ能ハズ。見タルトコロノ姿ニテハ。世上

至テ平和ニ見ユ。然レ聰明智見ノ世界ニテカ。ル平和ナ
 ルコハ。人心徳善ノ剛勇ヲ賣テ買得タル平和ナレバ。善キト
 ニアラス。何ニトナレバ。明哲勤敏ニシテ。事物ヲ考求スル
 ヲ好ム人。大抵ハソノ實ニ知り實ニ思フトコロノ道理ヲ
 胸中ニ隠シ蓄ハヘ。成ルタケ。世間一統ノ論ニ合カフヤウニ
 ト發言スルヲ務ムルコ。カクノ如キ情勢ニテハ。昔シ世界
 ヲ飾リシ正直ニシテ。畏懼セザル理論ノ人ノ如キモノヲ。
 生ダシ出ダスコ能ハザルベシ。
 世上ニテ真理ナリトスルトコロノモノヲ。已オレモマタ真理
 ナリト認トメ。時俗ノ說ニ隨フ人ハ。ソノ議論タニコレヲ聽
 ク人ノ心ニ合フヤウニスルマデニテ。自己ノ心ニコレハ

確實ナリト證スルモノニハアラス。又一種ノ人アリ。コレ等ノ困難ヲ避^クント欲シ。自^ラソノ說ヲ狹隘ニシ。根理ノ境地ニ入ルコヲ敢テセズ。タ^ゞ實用ノ小事ヲ論スルニ止マリ。人心ニ勢力ヲ添ヘ。人心ヲ闊大ニスル高上ナル事理ニ至リテハ。放^ク下シテ問ハズ。況ンヤ自由ニ思想シ大膽ニ議論スルコヲ為ンヤ。

世間一統ノ意見議論ト異ナルモノハ。異端邪說ト名ヅケラレ。コノ異端邪說ノ緘黙シテ言ハザルコヲ。人或ハ善^キト思フテ。ソノ弊害アルコヲ知ラス。第一ニ異端邪說トイハレ。餘儀ナク緘黙スル有様ニテハ。異端ノ人。腹ノ底ヲ出シ。明白ニ議論スルコヲ能ハザルモノユエ。ソノ意見ノ中ニ。

真理ヲ含ムモノアリトモ。ツヒニ埋没シテ。世上ニ顯ハレヌコトナリ。第二ニ。カクノ如キ有様ニテハ。異端邪說ニアラザル人ハ。更ニ甚シキ損害ヲ受ルコトナリ。何^カニトナレバ。世上ヨリ異端ト言ハレシコトヲ恐懼スルガ故ニ。發出スベキ才智モ。コレガ爲ニ萎靡シ。考ヘ出スベキ道理モ生ゼザルコトナリ。蓋シ聰明靈慧ノ人ハ。世上ニ數^多アレモ。ソノ能^奮ツテ考思ノ事ヲ爲シ。強猛ニ一己ノ所見ヲ言フコトヲ敢スルモノ。甚ダ少シ。コレ他ナシ。世上一般ノ說ニ異ナルトキハ。或ハイルレリダス。教法ニ背^ハク^トイハレ。イモ^ララル^{正經ニ非}ズ。ト詆^ソラル^{コト}ユエ。誰モ懼レテ自^ラ臆病ニナルナリ。試ニ思ヘカ、ル風習ニ由^リテ。世間ニ賢智ノ人ノ生スルヲ妨

自由之理 第二卷

二十三

思想之事
不可有限

ゲタル。幾何ゾヤ。勝テ算ヘカタクカルベシ。
 思想ヲ嗜ムモノハ。理學者ナレバ。理學者ノ。ヲ。思想者ト
 モイフ。思想者ノ。大家ハ。ソノ。才智ノ。至ルトコロニ。從ヒ。何
 レノ。方ニ。ナリトモ。コレニ。導カレ。ソノ。歸結スルトコロニ。
 任スル。ヲ。ナリ。コレヲ。以テ。第一ノ。職分ト。爲リ。蓋シ。人或ハ
 預シメ。學習シ。自ラ。思想シテ。謬見ニ。入ルモノ。アリ。或ハ。自
 ラ。思想セズシテ。タゞ。真說ヲ。執ルモノ。アリ。然レ。眞理ハ。思
 想シタル。謬見ヨリ。顯ハル。ヲ。多ク。思想セザル。真說ヨリ
 顯ハル。ヲ。少シ。思想ノ。事ハ。コレマデハ。思想スベク。コレ
 ヨリ。先ハ。思想スベカラズトイフ。限界アルベカラズ。マタ
 コノ。事理ハ。思想スベク。コノ。事理ハ。思想スベカラズトイ

心中之奴
隷

フ。禁制アルベカラズ。人トソハ。至ルトコロニ。任セ。ソノ。向
 フト。コロニ。任セテ。思想スル。自由ノ。權アルベキ。ヲ。ナリ。思
 想者ノ。大家。即チ。理學ノ。大家ハ。自由ニ。思想スルニ。由テ。大
 人ト。ナリタル。ナリ。然レ。凡。獨リ。コレノ。ミナラス。コノ。自由
 ナケレバ。大約。人タル。モノ。已ニ。具ヘタル。心オアリトモ。ソ
 ノ。具ヘタル。分量。タケ。ノ。モノ。ヲ。生長スル。ト。能ハザル。ト。ナ
 リ。
 自ラ。天良。是非ノ。心ニ。原キ。自由ニ。思想シ。一己ノ。意見ヲ。立
 ル。ト。能ハスシテ。他人ノ。說。即チ。世間。總體ノ。議論ニ。餘儀。ナ
 ク。從ガ。ソ。ヲ。心中ノ。奴隷トイフ。コノ。心中ノ。奴隷ナル。モ
 ノ。一般ニ。行ハル。ソノ。大氣ノ。中ニ。思想者ノ。大家。即チ。理

の中

禁異端邪說之國不出聰明之民

學ノ大家生レタルヲナク。今ヨリ後モ生レザルベシ。マタ
 カル世ニ思想ノ事ヲ勤ムル聰明ノ民出シ下ナク。今ヨ
 リ後モ出ザルベシ。昔ヨリ何ノ國ニテモ人民暫時ノ間一
 己ノ心ヲ出シ思想ヲ勤ムル有様ニ近カリシ時ハ即チ
 異端邪說トイハル。一ノ懼ナキ時ナリ。即チ異說ヲ禁ス
 ルノ風暫時息シ時ナリ。サレバ何ノ處ニテモ若シ某々ノ
 理論ハ駁議ヲ入ルベカラズト默許ノ約條アリ。及ビ人生
 極大ノ疑案ニツイテ議論スルヲ許サル地方ニテハ決
 シテツノ人民ノ活潑ナル智思ヲ發出スルヲ得ズ。高上
 ナル階級ニ進ムヲ得ザルヲナリ。何ニ況ンヤ。時節ニ史
 冊ヲ輝カス人智振興ノ時代ノ如キヲ得ンヤ。凡ソ事最要

三時限

軒輊興
文論三時

最大ニシテ人ヲシテ奮熱セシムルモノアリ。カクノ如キ
 事件。或ハ題目ヲ手ヲ著スニ^サ束^サ閣^サシテ議論セズ。辯駁セザ
 ル時世ノ^ア情^ア狀^アニテハ人民ノ心決シテツノ心ノ底ヨリ聳
 動振興スルヲアルベカラズ。尋常才智ノ人決シテ聰明思
 想ノ高等ナル位級ニ進ムトアタハザルナリ。世ノ人熱心
 ニ議論シテ智見ヲ進メ開發ヲ得タルツノ例ヲ引バ第一
 ニレホルメーション^{新ノ事}ノ後歐洲諸國ノ^ア情^ア景^アナリ。第一五
 第十回百年^{一十七百一年ヨリ一十八百年マデ即チ半}
 ヨリ終ニ至ルマデ歐洲諸國ニ於テ學者窮理上ノ議論蜂
 起セシ時ナリ。第三八日耳曼ニ於テグイテスイシテ^{二人イジ}
 家^{モ有名}ノ^レ說^レ出^レテ人心發^レリ立^レシ時ナリ。コノ三ノ時代ニ於テ

定論之軌
破而新精
神振興

三卷別

各々ツノ意見ノ生ジ來ルモノ。甚ダ相異ナリ。雖モ、ツノ
定論ヲ以テ人心ヲ羈絆スルハ、ツノ軌ノ破レシハ皆同心。蓋シ
コノ時イヅレモ人ノ心思才智ヲ抑制セル舊キ陋習一洗
シ。人ハ新精神ヲ鼓動スルコトナリ。歐羅巴今日ノ景象ハ
コノ三時限ニ由テ造リ出サレタリ。即チ人心ノ日ニ上進
シ。教導ノ規制益々具ハルコトハナリシナリ。然ルニ熟々
世ノ情勢ヲ觀ルニ。コノ三時限ノ人心鼓動セシモノ。今殆
ド盡ナントス。サレバ。世ノ人新々再ビ自由ニ考思シ。熱心
ニ精神ヲ振ヒ起サンコトヲ。今日ニアリテ望マシキコトナ
レ。何ニテモ今マテ受ルトコロノ意見。タトヒ真理アルニモ

セヨ。十分ニ他人ヲシテ自由ニ議論シ。恐レズニ辯駁セシ
ムルコトヲ許サレバ。ツノ意見ハ。死執シタル定説ニシテ。
生活シタル真理ニアラス。然ルニ一種ノ人アリテ。巴ガ心
ニコレハ真理ナルベシト思フ事ヲ。他人ノ中ニ一人タリ
トモ。コレヲ許シテ疑ハザレバ。遽ニツノ心ニ満足シテ。十
分ナリトセリ。ツノコレヲ許セル他人ハ。イカゞトイフ
ニ。ツノ意見ノ根原ヲ知ラヌモノユエ。上面バカリノ駁説ト
イヘズ。コレヲ辯明スルコト能ハザル人ナリ。カクノ如ク。一
人ニテモ他人ノ巴ヲ信スルモノアレバ。十分ナリトスル
一種ノ人ハ。ツノ訓戒ノ條規モシ。權勢ヲ得タランニハ。他
人ヲシテ疑ヲ入レ。問難セシメテハ。善カラヌモノト思ヘ

自由之理第一卷

三十一

以サレバ、又人ノ意見流行スル時ニ、アタリテハ、非難
 ノ善キモノト雖、起ラスシテ、吾ガ説ノ廢ザルヲ務トセリ。
 抑モ一體ノ情由ヲ言ハ、外ヨリ議論辯駁ノ入ルヲ許サ
 ルトハ、能シガタキ事ニテ、又確實ニ知タルモノニ本ヅカ
 ザル人信ハ、小々論駁ヲ受レバ、忽チ三須ヲ取ルヲナリ。
 其ルカラニ、人ノ信スルヲハ、他人ノ辯駁ヲ自由ニ許シ、他
 人ノ非難ヲ十分ニ論破シタルウヘニテ、コレハ真確ナリ
 ト信スル事ナルベシ。モシ辯駁ヲ受ケズシテ、コレハ真確
 ナリト信スル人タルモハ、真理ヲ求ムル所以ノ道ニ
 アラズ。カタク如キ方法ニテ求メ得タル真理ハ、ソノ人自
 ラハ真理ト思スベケレド、畢竟荒唐ナル妄説ナリ。偶然言

語ニ纏ヒタル謬見ナリ。
 人ノ才智及ビ判断ノ修メ養フベキコトハ、プロテスタント
 教ヲ棄拒ムノ人ノ承認スル事ナリ。然ラバ何ニシテ才智
 判断ヲ修メ養フベキヤトイフニ、ソノ抱ケル意見ニ關係
 スル肝要ナル事ニ於テ脩メ養フベキナリ。所謂肝要ノ事
 ハ、吾ガ自己ノ意見ノ原由ヲ察知スベキノ事ナリ。蓋シ人
 何ニテモ、ソノ信スルトコロノ事ノ第一肝要ナルモノヲ、
 誤ラズニ信シタラシニハ、コノ人必ズソノ反對セル駁説
 ヲ知テ、コレヲ拒防セザルベカラズ。然レ人或ハマサニ言
 ベシ、ワカ意見ノ原由ハ、察知セザルベカラズ。既ニ原由ヲ
 知タル上ハ、他人ヲシテ辯駁セシメズトモ事足スベシ。譬

除算術外
天下之事
理各有異
說不相同

ヘバ。量地法ヲ學ブガ如シ。タツツノ設詞ヲ記憶スルノミ
ナラズ。必スツノ理ヲ講解センコトヲ要スベシ。然レモコレ
他人ノ駁議ヲ聞ストモ。ツノ理ノ原由ハ固ヨリ解シ得ラ
ズ。トナリト云スベシ。
コレニ對ヘテ曰ク。カクノ如キ說ハ。算術ノ如キタゞ是ナ
ル一端ナル人ニテ。非ナル一端ノナキモノニ當ハマル
ベシ。算理ノ獨リツク他ノ衆理ニ異ナルモノハ。ツノ議論
ミナ一是ナリ。ミナ同說ナリ。故ニ辯駁ノアルベキヤウナ
シ。算術ヲ除ク外。天下ノ事件ニ於テ。ハ人々種々ノ意見
アリテ。盡ク一様ナラス。而シテハ。真理ハ。兩箇相敵スル議
論ノ平均セルトコロニ存在スルトナリ。窮理學ノ如キモ

神教。修身
教。經濟學
凡諸學科
皆有異說
進益之事
由有聚異
而得

昔設洛

ノト雖モ。同様ナル實事ニテ說明ノ異ナルモノアリ。或ハ
地ヲ中トスル說ヲ主トシ。或ハ太陽ヲ中トスル說ヲ主ト
セリ。或ハ衝氣ヲ主トシ。或ハ衝氣ヲ主トセリ。故ニ已ニ反
スル說ノ謬誤ヲ言顯ハス。能ハザレバ。我自ラ吾ガ意見
ノ根源ヲ會得スルニハアラザルナリ。コレヨリ更ニ又混
雜セル學科ニ至リテハ。ツノ種々ナル異說アルト殊ニ甚
シトス。即チモ。修身學科。レリテ。神教ノポリチクス。經濟學科
シアル。ソレシヨニス。倫道。ゼビレ子ス。ヲ。ライフ。人生職。務ノ事。柄
ニ至リテ。意見議論各皆一様ナラス。ツノ互ニ爭駁スル議
論ノツツ四分ノ三ハ。已ニ異ナル說ヲ排斥スルモノナリ。
往古有名ノ論理家昔設洛。ツノ已ニ抗敵スル人ノ案件ヲ

熱心ニ學習セシメ傳記ニ見ユ凡ソ人真理ヲ討求セント
欲セバ昔設洛ノ如ク爲シ行フベシ人自巳ノ一方ノミ
ヲ知リテソハ他ヲ知ザルモハハツノ知トコロハ少シ
モシソノ議論善シテ他人コレヲ非難スルコトヲ得ザレバ
ソレニテモ濟ベケレドモコレハ必スベカラザル事ナリ
故ニ人アリテソノ已ニ敵對スル辯論ヲ非難スル能ハス
并ニ他人ノ異說ヲ十分ニ了解スル能ハザルモノハ種々
ノ中ニテ意見ノ善ナルモノヲ擇ビ取ルノ根源ヲ有タヌ
コナリハ如キ人ハ考思定斷ノ事ヲ爲シ能ハスシテ或ハ權
勢強キ一方ノ說ニ導ビカレ或ハ一般庸俗ノ如クソノ自

敵人之議
論不可不
聞知不可
不十分了
悟

ラ心ノ傾ムキ好ムトコロノ一端ニ從フコナリ然ルト
キハ已ニ敵對スル辯論ヲ聞テ十分ニ了悟スル不決シテ
コハ工夫ヲ欠クベカラズサレドソノ敵對スル辯論ヲ特
ニソノ先生或ハ教師ノ口ヨリ聞傳フルノミニテハ事足
ルベカラズソノ先生ノ辨倒スル口眞似ヲスルノミニテ
ハ事足ルベカラズ蓋シカクノ如クスルハ已ニ敵對ス
ル辯論ヲ公道ニ裁判スルノ方法ニアラス又彼一方ノ說
ヲ吾心ニ進ツケ眞實ニ措合スルヤウニスルノ方法ニア
ラザルナリサルカラニ人苟モ敵人ノ意見議論ヲ聞知ラ
ト欲セバ必ス實ニソノ說ヲ信スル人ヨリコレヲ聞ザル
ベカラズ熱心ニソノ說ヲ護守スルノ人ヨリコレヲ聞ガ

ルベカラズ。ツノ説ノ他人ヲ勸メ信服セシムル様子ヲ知
 ザルベカラズ。マタツノ事ニ即キ真見ヲ以テコレヲ攻撃
 スルニツノ難處アルヲ知ザルベカラズ。ツノ難處ノ全力
 ヲ知ザルベカラズ。モレコノ以上ノモノヲ聞カズ。以上ノモ
 ノヲ知ラザレバ。コノ人ハ我ニ抱ケル真理ヲ以テ。敵人ノ論
 難ヲ受ケ論難ヲ破ルヲ能ハズシテ。ツノ所謂真理ナルモ
 ノモ。畢竟窺要ニ中ル部分ニハアラザルナリ。
 サレド。讀書學問シタル人トイハル、モノニテモ。百人ノ
 中ニ九十九人ハ。カクノ如キ情形ナリ。或ハ辯舌流ル、ガ
 如ク。能クツノ意見ヲ議論ニ發スル人ト雖也。要スルニカ
 クノ如キヲ免カレズ。ツノ歸結スルトコロノ言ハ。真確

ナルベケレド。ツノ知ルトコロノ事ハ。虚謬アルベシ。蓋シ
 カクノ如キ人ハ。他人ノ心ニナリテ。已ニ異ナル説ヲ考思
 セザルガ故ニ。他人ノ言ヲ知ザルハ。ミナラス。ツノ自ラ
 是ナリト認ル。教道ヲモ。當然ニ知ラザルナリ。カクノ如キ
 人ハ。教道ノ部分ニ於テ。コノ部分ヲ知レバ。コレヲ以テ。ツ
 ノ他ノ殘レルモノヲ解釋シ伸理スベキトイフ部分ヲ知
 ラヌ。トナリ。抑モ表向ハ。相互ニ争ヘド。ツノ實ヲ按スレバ。
 相和スベキモノアリ。兩箇ツヨク各々議論ヲ言立レド。コ
 ノ一方ハ擇ビ取ルベク。彼ノ一方ハ擇ビ取ラルベカラザ
 ルモノアリ。コレ等ハ。雙方ヲヨク考ヘザレバ。知ガタキ
 トナリ。カクテハ。凡ソ真理ノ秤盤ヲ轉ズルトコロノ部分

若無敵人
之駁我者
則我當自
設駁說

及ビ善ク學者ヲシテ考思判斷セシムルトコロノ真理ノ
部分ニ至リテハ全然知ラザルナリ。コレ公平ノ心ヲ以テ
彼我ノ說ヲ察シ、兩方ノ道理ノ各至レルトコロヲ看出サ
ン。トヲ務ムル人ニ非レバ、知得ラルベカラス。蓋シ眞實ニ
正心脩身ノ事並ニ人生日用ノ事ヲ理會セント欲セバ、他
人ノ辯駁ヲ受ルヲ至要至緊ナルモノト爲ス。サルカラニ
凡ソ緊要ナル真理ニ於テモシコレニ抗敵シ反對ノ議論
ヲ言フ人アラザルトキハ、必ズ自ラコレヲ想ヒ出シ、強猛
ノ駁說ヲ造リ、詭巧ヲ極メテ、ソノ缺典ヲ補ハザルベカラ
ズ。カクマデニ他人ノ駁議ハ必要ニシテ欠クベカラザル
モノナリ。

議論ノ自由ヲ好マザル人ハ、コノ上ニイヘル如キ思想ノ
盛ナラシメテ防ガントテ、說ヲ立テカク言ベシ。曰ク、通常
ノ人ハ、タドソノ執ルトコロノ意見ヲ信ジテ事足り。他ノ
理學者神學者ニテ、或ハワガ方ノ意見ニ與シ、或ヒハワガ
方ノ意見ニ敵スルモノアリトモ、コレ等ヲ知ルヲ要セズ。
理會スルヲ要セズ。通常ノ人ニ向ヒテ、ソノ對敵ノ黨ニテ
論說スル謬誤ヲ言露スハ無益ナル事ナリ。誰ニテモ衆人
ノ中ニ能ク吾ガ教道ノ根株ニ達シ、四面敵ヲ受ケ、應答響
ノ如キモノ、アラシハ、ソレニ事足り、又ベシ。コノ人ハ、
特ニ教道ニ習熟シ、真理ノ原由ニ推溯シタレバ、ソノ他衆
人ハ、コノ人ニ依頼シ、ソノ說ヲ以テ定規トシ、固ク信ジテ

疑ハザルベシ。モシ對敵ノ黨ヨリ問難駁議ノ發リ來ラン時ハ、コノ人、公衆ニ代リ、コレヲ引受ケ、ソノ難ヲ解キ、疑ヲ釋ベシ。衆人ノ才ナク、學ナキモノハ、固ヨリ安心シテ、コノ人ニ委信スベキナリ。

以上ノ說アリトモ、議論ノ自由ヲ主張スル人ハ、コレガ爲ニ動カサレズ、何ニトナレバ、コノ說ニテモ、ソノ教道モシ他人ヨリ問難ヲ受ルトキハ、十分ニ解釋シテ答ルガ故ニ、真確ナリトシテ、コレヲ信スベシトイヘリ。シカル上ハ、問難ヲ受ルコトヲ嫌ハザル筈ナリ。サレド、議論ノ自由トイフモノナケレバ、問難ハ出來ラザルベシ。問難ナケレバ、解釋シテ答フベキヤウナカルベシ。マタ對敵ノ黨ニテ、我が答

フルトコロ、十分ナラズトイフコトヲ顯ハシ言フベキ機會ナケレバ、何ニシテ已ガ答ノ十分ニ行届キタルコトヲ知得ンヤ。

タトヒ公衆總體ニアラストモ、セメテ理學者及ビ神學者ハ、最モ解釋シガタキ疑題、即チ對敵ノ黨ヨリ辯駁非斥スルトコロノモノヲ識リ熟セサルベカラズ。然レコレハ他人ノ自由ニ意見ヲ陳スルヲ聽ソノ身ヲ有益ナル光ノ中ニ置コトヲ得ルニ非レバ、成就シ得ラルベカラザルナリ。○加特カノ教會ニテハ、嘗テコノ事ニツイテ一ノ規法ヲ立タリ。蓋シ人類ヲ分テ二トナシ、ソノ一ヲシテ、自ラ教法ヲ真確ニ知タル上ニテ、コレヲ信ゼシメ、ソノ一ヲシテ、他人

加特カ教
分入類為

ニ倚頼シテ教法ヲ信受セシム。即チ僧ト俗トノニ分チ。僧ヲシテ飽マデニ教法ノ事ニ諳熟セシメ。俗ヲシテタゞ僧ヲ便テ教法ヲ信ゼシムルナリ。僧タルモノハ教法ヲ司ドリ。他人ニ倚頼セラル、モノユエ許サレテ異端外教ノ書ヲ讀ミ。敵人ノ議論ニ通曉シ。ソノ問難ニ應答スルヲ以テ。已カ任トナセリ。俗人ハ特許ヲ得ルニ非レバ。異端ノ書ヲ讀ムヲ得ザリキ。○コノ規法ニツイテ觀ルトキハ。加特カ教ニテモ。敵人ノ意見議論ニ熟達スルハ。先生教師ニ益アルモノト思ヘルヲ明ナリ。但シ敵人ノ説ヲ普ク世間ノ人ニ知ラシメヌヤウニト為シテ。コレヲ禁ジタリシナリ。サレバ。國中總體ノ人ニ自由ニ考思ノ才ヲ生ゼシムルト

波羅特士
但教許人
自擇其是
者而從之

コロニハ進マザレド。ソノ中ノ秀俊ナル人。即チ教法ノ師トナルモノニハ。心靈ノ才能ヲ養ヒ長ゼシメタリ。夫タトヒ教養ノ事アリトモ。普天下ノ人ヲシテ自由ニ思想シ。自由ニ取捨シ。自由ニ避就スルヲ得セシメザレバ。寛弘廣大ノ心アル人ヲ造リ出ス。能ハズサレバ。コノ規法ニテハ。未ダ十分トスルニ足ラス。然レド教師ダケハ。ソレヲシテ。聰明ナル聽訟官ノ如キモノニ至ルヲ得セシメタリ。○プロテスタニズム 加特カ教ヲ棄拒ムノノ教派ニ從フ國々ニ於テハ。コノ方法ヲ否トナシテ用ヒス。何ニトナレバ。プロテスタント 加特カ教ヲ棄拒ムノ人ノ説ニハ。教法ヲ擇シテハ。是トスルトコロニ從フハ。各人自己ノ責任ナリ。更ニ別

先生教師
宜著書頌
行天下不
可有禁制

人ノ事ニ關カラスコノ責任ヲ先生教師ニ委託スルハ不
可ナリトイヘリ。○コレノミナラス今日ノ天下ニアリテ
ハ先生教師ノミヲ許シテ異端ノ書ヲ讀ミ。敵人ノ說ヲ知
ラシムルナド、イフ愚ナルヲハ決シテ行ハルベカラズ。
何ニトナレバ。今時ニテハ學者ノ讀ム書モ俗人ノ讀ム書
モ均世ニ行ハル、トユエニ俗人ヲ禁ジテ學者ノ書ヲ讀
ザラシムルヲ能ハザレバナリ。○道理ヲ教ル先生即チ民
ヲ備キ俗ヲ訓ルノ任アル人ハ何事ニテモ世人ノ知テ善
カルベシト思フ。ハ盡クコレヲ書ニ筆シ天下ニ頒行ス
ベシ。固ヨリ禁制ナク拘束ナカルベシ。
人或ハ曰ク。一世ニテ信ズルトコロノ意見モシ真確ナル

議論之自
由使人追
溯其意見
之本源

時ハ再ビ議論スルニモ及ブマジ。議論ノ自由ナケレバソ
ノ害或ハ人ヲシテソノ信ズル意見ノ根源ヲ知ラシム
ルニ至ルベシ。ナルニモセヨ。コレハ人ノ德行ノ害トハナ
ラス。トユエ意見ノ價ハコレガ為ニ損減セザルベシトイ
フベシ。○我思フニ議論ノ自由ナケレバ人ヲシテソノ執
ルトコロノ意見ノ根原ヲ忽カセニシテ察セザラシムル
ノミナラス。往々ソレヲシテ意見ノ旨義ヲモ忘レシムル
トナリ。ソノ言語ノ意見ヲ道出スモノ。ソヒニ意見ヲ發揮
ト通達スルヲ能ハザルニ至リ。或ハ通達ストモソノ元來
用ル言語ノ小分ニ過ズ。ソノ意見生動セズ。ソノ信徳活潑
ナラス。ソノ胸中ニ存スルトコロ。特ニ少許ノ殘章斷句ア

凡開基之人了解意義圓滿活動

ルノミ。ソノ意義ノ貯フルトコロ。特ニソノ糠粃糟粕ニシテ。ツノ精微要緊ナルモノハ。一モ有^ルナシ。嗚呼^{カク}ノ如クニシテ可ナランヤ。○コノ上ニイヘル實在ノ情事ハ。人世ノ史冊ノ大章段ナリ。發憤シテ默想セザルベカラズ。凡ソ正心修身ノ學派。凡ソ法教ノ宗門ニ於テ。ソノ成行ル情狀ヲ試シ觀ルニ。何モ皆ツノ開基ノ宗祖トイハル。人并ニコレニ親炙スル門弟子ハ。ソノ教法訓條ヲ。已ガ心ヨリ締造セシモノユエ。ソノ意義ヲ了解セル。圓滿活動セリ。始テ一宗一派ヲ立ル時ニ當リテハ。必ズソノ他ノ教法信録ノ上ニ超過セント欲シ。コレト角争セザルヲ得ズ。コノ角争ノ未ダ終ラザル間ハ。ソノ教徒相續テ。教法信録ノ

意義ヲ徹底通曉シ。ソノ勢力ヲ失ハザルコトナリ。然レ久シキ後。ソノ宗派盛ニ行ハレテ。世間總體ノ說トナリ。争論ノ事。次第ニ息滅スルトキハ。コノ宗派ニテ。既ニ得タル版圖ハ。失ハザルベケレド。進ンデ更ニ廣宣流布スルコト能ハザルベシ。コレ何如トナレバ。コノ宗派既ニ許サレテ。一箇ノ意見。一箇ノ教門ト立テ。世ニ弘マル時ニ至レバ。コレヲ奉スル教徒ハ。ソノ教門ヲ承嗣ルモノニテ。コレヲ擇ビ立ルモノニ非ズ。而メ一旦甲ノ教門ニ入リ上ハ。乙ノ教門ニ改化歸向スルコトハ。非常格外ノ事ニテ。教徒ノ心ニ。ソノ邊ニ思ヒ至ルコトハ。少キモノナリ。抑モ始メ一教門ヲ立ル時。或ハ天下ヲ敵ニ受テ。ソノ說ヲ護守シ。或ハソノ說ヲ以テ。天

下フ感化セント思ヒ、ソノ心常ニ油斷ナカリシガ、コ、ニ
至リテハ、サハナク、安心シタル姿ニテ、意氣低沈シ、ソノ教
法ニ敵シテ議論スルモノアリト雖モ、コレヲ耳ニ納ルマ
タ異説ヲ立テ、^{オカレ}己カ教派ニ背クモノアリトモ、コレ等ニ關
係セザルコトナレリ、凡ソ教派ノ衰ヘテ生氣ナキニ至ル
コトハ、カ、ル情勢ニナリシ日ヲ、ソノ始トセリ。

何ノ教法ニ限ラズ、予屢々ソノ先生教師ノ歎息シテ言フ
聞リ、曰ク、今ノ教法ヲ信スル人上向ノ名バカリ、ソノ教法
ヲ信スレモ、ソノ真理ヲ活解スルコト能ハズ、故ニ内ハ性情
ニ沁入セズ、外ハ行實ニ發スル能ハズ、サレバ、イカニシテ、
信者ノ心ニ、活底ノ真理ヲ保存セシムルコトヲ為シ得ンヤ

コレヲ為スコト、甚ダ難シト云テ、歎シアヘルコトナリ。○抑モ
カクノ如キ嘆息スベキ情狀ハ、ソノ教派ノ未ダ一世ニ認
ラレズシテ、ソノ教徒務テ對敵ノ黨ト辯論ヲ以テ相合戰
スル時節ニハ、決シテコレナキコトナリ、カク辯論ヲ爲ル人
ハ、タトヒ勢力寡弱ナリトモ、戰フタメノ目的ヲ知リ、并ニ
^{オカレ}己カ教法ト、他ノ教法トノ異同ヲ知ルコトナリ、總テ一ノ教
派始テ世ニ成立ツ時、コレニ信從スル人多クハ實ニソノ
教道ノ根理ニ通ジ、百般ノ心志ヲ知リ、盡クソノ要緊ナル
舉動ヲ斟酌思量シ、教法ノ信心ニ根ザシテ、品行ヲ造リ成
シタリ、然ルニソノ教派立ち、互ニ相傳ルコトナリ、受納ル
ノミニシテ、施シ出スコトナシ、コトニ於テ、教徒ノ心、マタ前

人ノ已^ヤヲ得スシテ活潑ノカヲ出シ問難ヲ辨解スル如キ
コナキユエニ次第ニ信心失念シツノ存スルトコロノモ
ノハ特ニ表^ウ向^キノ教法禮儀ノミナリカクノ如クニテハ自
由ノ良心ニ出テコレヲ信スルニ非ス親シク經驗シツノ
實ニ信スベキヲ試ミテコレヲ信スルニ非スタゞ古人及
ビ他人ノ心ニ倚賴シテコレヲ信スルマデニテ吾ガ真正
ノ心靈ト毫モ交渉ナキコナリサレバニヤ今日天下ノ人
大半ハツノ信スルトコロノ教法ヲ心中ニ入^レズ特ニ心外
ヲ包圍セシメツレヲシテ化シテ石質トナラシメコレヲ
以テ他説ノ高ク勝レタルモノノ吾^ガ心ヲ感動スルヲ禦^グ
ハ用トナセリサレバ外ニ爽快活動セル實證ノ議論アリ

絶妙譬喻
描出一種
固陋人何
代無賢乎

ト雖^レ凡^ソコノ頑硬ナル膚廓アリテコレヲ守リツノ中ニ入
ルヲ許サズカク心外ニ番兵ヲ置キテ他物ハ入ルヲ拒^グ
トモサリトテマタ自ラツノ心ヲ爲^スニ一事ヲモ爲^スタゞ
中央ニ空地ヲ殘シ留ムルノミ
元來教道ハ深ク人心ヲ感スルノ實效アルベキニコレガ
教徒トナリ信士トナルモノ教道ヲ想像セス思想セス理
會セズシテタゞ死信死守スルノミナルハ何ニゾヤ今上
帝道ヲ信スル人ノ情狀ヲ寫シ出シテコレヲ表明スベシ
上帝道ノ中ニ種々ノ門派分^カレ各々教會ヲ立ルコナレド
モツノ神聖ヨリ出タル律法即チ箴言トナシテ奉守スル
モノハ盡ク皆^レセニユトスタ^トニ非ザルモノナシ然ルニ

死信死守
一輩人如
此

實ニコノ律法ヲ體認力行スルモノハ、一千人ノ中ニ一人モアルマシト思ハル、ホドナリ。コノ外ニマタ照依スル定規アルコトニテ、即ソノ國ノ風俗、ソノ黨類、ソノ風俗、ソノ教門ノ儀式ナリ。故ニ人、一ニハ、ソノ政府ヨリ定規トシテ立ルトコロノ倫常ノ箴言アリテ、コレヲ信ジ、一ニハ、日用事物ヲ分別シ練習スルノ定規アリ。即チ教法ノ信條ト、塵世ノ利益ト交和シタルモノニテコレヲ守レリ。蓋政府ノ定規ヲバ、恭敬服從シ、教法ト利益ト調和シタル定規ヲバ、真心ヲ以テ依從セリ。上帝道ノ徒ニテ信スルトコロノ法語ニ曰ク、虚心謙遜スルノ人、及ビコノ塵世ニ虐遇セラレ、人ハ、必ズ天國ノ福ヲ受クベシ。曰ク、駱駝ハ針孔ノ中ヲ

穿チ入ルト難カルベシ。塵世ノ富人ノ、天國ニ入ルトハ、コレヨリモ、ナホ難カルベシ。曰ク、吾モシ他人ヲ非議スルトキハ、上帝亦吾罪ヲ議スベシ。故ニ人ノ過失ヲ非議スルト勿レ。曰ク、スベテ誓ヲ爲ストナカレ。曰ク、他人ヲ愛スルトバ、^{オレ}如クナルベシ。曰ク、モシ人汝ガ裏衣ヲ奪ハント欲セバ、^{レタキ}外衣マデモ、コレニ與フベシ。曰ク、明日ノ事ヲ思想スルト勿レ。曰ク、盡ク汝ノ所有ノ物ヲ賣テ、コレヲ貧人ニ與フベシ。コレ等ノ事ヲ信スルニ、活信ト、死信トノ別アリ。活信ノ人ハ、コレ等ノ法語ヲ信シ、日用實行ノ上ニ行ヒ出シ、凶禍災厄ニ逢フト雖、^{カサラフ}コレガ爲ニ擾累セラレズ。又ソノ善ト思ヒ行フトコロノモノハ、教法ヲ證トシ、コレヲ理論ニ

發スルヲモ成シ得ラルベキナリ。死信ノ人ハソノ法語ヲ
 身ニ踐ミ行ハント思ハズ。故ニコレヲ事物ノ間ニ施ス
 ヲ知ラズ。心中ニ勢カナク。タゞ教法ノ儀式ニ從ヘルノミ。
 若シ行爲ニ關係スルヲ出來ルヲアレバ。或ハ甲ノ先生ニ
 向ヒ。或ハ乙ノ先生ニ向ヒ。ソノ指導ヲ仰ギ求ムルヲナリ。
 我往昔ノ西教ノ教徒ヲ觀ルニ。今世死信ノ人ノ如キ情狀
 トハ。覺ニ相別異セリ。モシコレト同ジカリシナラバ。西教
 イカニシテ。希伯來ノ如キ輕賤セラレタル國ヨリ起リテ。
 羅馬ノ版圖ニ蔓行スルニ至ランヤ。西教ニ敵スル人相語
 リテ曰ク。彼ノ教徒ヲ視ヨ。互ニ相愛スルヲ一ニ何ゾ深キ
 ヤト。コレニテ知ルベシ。昔時ノ教徒。教書ノ意味ヲ活解ス

昔時教徒
相愛甚深

後世ノ及ブベキニ非ズ。サルカラニ。西教ノ傳播スル
 ヲ甚ダ遅ク。一千八百餘ノ星霜ヲ經レテ。歐羅巴人及ビ他
 邦ニ住スル歐羅巴人ノ苗裔ニ限リ。ソノ他ニ及バザルナ
 リ。堅ク教道ニ黏附スル黨類アリト雖。加爾平諾克斯ノ
 如キモノニ激動セラル。ノミニテ。ソノ發奮ノ心。自己ヨ
 リ生ズルニ非ズ。蓋シ通常ノ人ハ。徒ニ教祖ノ言ヲ聞ルノ
 ミニテ。ソノ他何事ヲモ成就シ得ザルナリ。歴ク諸々ノ教
 派ヲ觀ルニ。ソノ世人ニ怪マル。教派ハ一世ニ許サルハ
 モ。ハニ比スレバ。活潑ナル精神ヲ存セリ。コレガ先生教師
 トナレルモノハ。更ニ他ニ比スレバ。許多ハ辛苦ヲ厭ハズ。
 教道ノ意味ヲシテ。死セザラシム。是何ノ故ゾトイフニ。獨

教派之被
怪于世
者其精神
活潑勝於
被許于一
世者

仇敵已滅
睡眠方始

異ナル教派ハ他ノ教派ニ比スレバ最モ多ク疑難ヲ受ケ
 最モ屢々公然トシテ我ニ抵抗スル人ヲ防ガザルヲ得ザ
 レバナリ然レドソノ教世ニ行ハレ敵既ニ見エザル時ニ
 至レバ先生モ學者モ早ク已ニ睡眠ヲゾ始メタリケル何
 ノ宗派ニテモソノ顛末大抵カクノ如シ
 上ニイヘル如キノ情形ヒトリ教法ノミニ限ラス古ヨリ
 言傳フル人生智識ノ理學及ビ正心脩身ノ教ニ於テマタ
 皆然リ凡ソ語言文字書冊ノ中ニ人生日用守ルベク行フ
 ベキ箴規ハ充滿セリソノ箴規ヲバ格言法語トナシテ人
 ヲ耳ニ慣レ口ニ誦スルトナレド困難痛楚ノ事ニ當リ親
 試實驗スルニ非レバソノ箴規ノ意味ハ眞實ニ身ニ覺ヘ

又コナリ人往々意外ノ凶禍ニ罹リ或ハ失望ノ事ニ逢フ
 トキハ古語諺語等ヲ憶ヒ出スソノ語ハ平常口癖ノヤウ
 ニ言慣タルモノナレドコノ時ニ至リ始メテソノ意義ノ
 眞確ナルヲ覺ユモシ最前ヨリコノ時ノ如ク覺ヘタラン
 ニハ凶禍ニ及バザルベシト思フホドナリサレバ身自ラ
 經驗シタル後ナラデハ眞理ヲ含メル語ノ意味ヲ實ニ覺
 ヘザルガ如キ事許多アルベシコレ等ハ對敵ノ黨ヨリ非
 難ヲ受ケ相與ニ辯論スルトヲ待ズシテソノ眞理ナルヲ
 知ルナリ然ドモモシ他人ヨリ長短ヲ議論スルヲ常ニ聞
 タランヨハソノ理會スルヲ更ニマタ深カルベシ人心ノ
 病害ソノ治療スベカラザルモノハ何事ニテモ復々疑ヲ

定見之深
睡吾黨學
者所當深
戒

容ザルトキハ止棄テ考思セザルコトナリ。ソノ謬誤ノ見ニ
陷リテ自ラ知ザルハコレニ由リ。當今著作家ノ言ニ定見
ノ深睡一定ノ見識ヲ立自ラ是トシテ更ニ考
思セザレバソノ謬見永ク覺悟ノ期ナシトイヘルコ
アリ。道得テ好シ。
或人コレヲ聞テ疑問ヲ發シテ曰ク。子ノ言トコロノ如ク
ナレバ。心意ノ同一ナラザルコトハ。真正ノ智識ヲ得ルタメ
ニ。必要ニシテ缺ベカラザルモノトスルカ。真理ヲ證知セ
シタメニ。人ノ或ハ謬誤ニ膠執スルモノハ。必需ニシテ無
ルベカラザルカ。何ノ教派ヲ論ゼズ。モシ世ニ用ラレ。時
ニ至レバ。忽チ真正ノ信仰スル人。即チ活信ノ人。モハヤ出
ヌコトナルニヤ。而メソノ中ニ疑フベキモノ復存スルナ

キトキニハ。議論ノ題目。決シテ明白通曉ナルコト能ハザル
ニヤ。世上ノ人。同心一致シテ。何ナリトモ。ソノ真理ヲ認信
スルトキニ至リ。ソノ真理忽チ亡ブルニヤ。今マデ人ノ思
フトコロニテハ。凡ソ緊要ナル真理ハ。同心一致シテ。コレ
ヲ認ルモノハ。愈々益々多キヲ善トシ。コレヲ以テ極高ノ
志願トシテ。コレヲ以テ。智識聰慧ナル徵候トセリ。然ルニ。
子ノ言ノ如クンバ。ソノ志願未ダ達セザル間ハ。智識聰慧
ニ進ミ。ソノ志願既ニ達スルトキハ。聰慧頓ニ退クトイフ
ニヤ。戰勝ノ菓實。ソノ十分成熟スルニ及ビ。忽チ亾失スル
コトニヤ。
コレニ對ヘテ曰ク。予カクノ如キコトヲ是ナリト説キ定メ

真理之數
愈增福祥
之氣斯愈
增

ス。蓋シ人民ノ開化が進ミ。位價ガ善クナルトキハ。モハヤ
疑ヲ容ス。爭論ヲ為ザル教派ガ。日ニ益數添ルヲナリ。而ノ
人生福祥ノ氣ノ多少ハ。真確ト認ル理ノ多少ニ視ラフ。真
理ノ數増トキハ。福祥ノ氣増トヲ知ルヘシ。ソノ真理ハ既
ニ爭論ナキモノナリ。抑モ關係アル爭論。次第ニ息テ。意見
ノ合一スルハ。自然必有ノ事ナリ。真確ノ意見合一スルハ。
世ニ益アリ。謬誤ノ意見合一スルハ。世ヲ害ス。然ト雖。凡コ
ノニ著眼スベキコトアリ。カク意見ノ殊異ナルモノノ境界。
次第ニ狭クナルヲ。自然ノ勢ニシテ免カルベカラズ。サレ
ド。コレヨリシテ利益アル事實ヲ結ブベシトハ。定メテ言
ガタシ。何ニトナレバ。敵人ニ向ヒ。吾說ヲ講明シ。或ハ提防

スルヨリシテ。吾^ガ聰識ヲ増シ。真理ヲ活解スルヲ得ルノ資
益ハ。甚ダ大ナルヲナルニ。コノ大資益ヲ失ヒタレバ。タト
ヒ意見合一シテ。一般ニソノ真理ヲ認ルノ利益ヲ得タリ
トモ。コノ損失ヲ以テ。ソノ利益ヲ^{扣除}セバ。ソノ^{扣除}セラ
ル。モノ。必ず少數ナラス。予切ニ思ヘラク。異論^{抵攬}ヨリ
生ズルノ利益ハ。今^ス已ニ失ヒタレバ。世ニ先生教師タルモ
ノ。ソレノ代リニ。務テ六ヶ敷難問ヲ設ケ。學者ノ面前ニ擲
ケ。恰モ異見ノ人ノ。學者ニ迫リ。モシソノ言^開キ出來ヌト
キニハ。改宗シテ。吾^ガ說ニ從フベシト。督責スルガ如クナラ
シムヘシ。
カクノ如キ主意ヲ以テ好キ方術ヲ求ントハセズシテ。昔

シコレニ似タルモノアリシヲモ。今ハ并セテ失ヒタリ。蓋
 シ古ニ普拉士問答ノ法アリシガ。瑣格刺底ノ理論ヲ祖述
 表明セシモノニテ。即チ難問ヲ設ケシ方術ナリ。○
 コノ問答ノ法ハ。理學及ビ人事ノ大題目ニツイテ。傳ヘ受
 タル教道ニ向ヒ。故ラニ駁議ヲ設ケ。非難ヲ入レ學者ヲシ
 テ。コレガ答ヲ為シム。抑モ總體ニ行ハル。意見トナリタ
 ルハ。専門ハ士ト雖モソノ意義ヲ了悟セザルニ至ルハ
 弊アリサルカラニ。カク問答ヲ為シ。反復論究スルトキハ。
 學者已カ未ダ知ラザルトコロアリシヲ知リ。ソノ教道ノ意
 義并ニソノ證據ヲ明白ニ合點スルヲ得。ソノ信スル心堅
 固ナルヲ得ルナリ。○中世ニ至リ。學校ニテ辯論ノ事ヲ設

ケシモ。亦カ、ル主意ヨリ出タルナリ。即チ學生ヲシテ。ソ
 ノ自己ノ說ヲ會得シ。并セテ已ノ說ニ抗敵スル說ヲ知ラシ
 メ。カクシテ。ソノ教道ノ淵源ニ達シ。他ノ教道ヲ折服スル
 ヲ得セシメタリ。コノ中世學校ノ辯論法ハ。醫スベカラザ
 ル弊病アリ。何ニトナレバ。ソノ發端トシテ。掲グルトコロ
 ノ論題ハ。典常ト定メタル古書ヨリ引キ出シ。タトヒ疑問
 ヲ入ル。トモ。後ツヒニコ、ニ折衷シ。ソノ裁定ニ歸スル
 コナレバ。即チコレ。決ヲ道理ニ取ラシテ。決ヲ古書ニ取ル
 ナリ。ユエニ人心ノ教養トナレル所以ニ至リテハ。瑣格刺
 底ノ理論ニハ。遙ニ劣レリ。然ドモ近世及ビ當今ニ至ルマ
 デ。人ノ心智ハ。コノ二者即チ瑣氏ノ理論。兼ニ中世ノ辯論法ノカニ藉ノテ少

カラス。而メ今世教養ノ方法ニ於テハ、カクノ如キモノナク。ソノ代ニ充ベキ所以ノモノヲ少タリ。人ノソノ教訓ヲ書籍及ビ教師ヨリ受タルノミナルモノハ、縦ヒソノ人自ラ滿盈スルノ惡弊ヲ免ル、凡^レ已ガ一方ノ説ヲ知^ルノミニシテ、他ノ一方ノ説ヲ聞^キ知^ルニ由ナシ。是故ニ善ク思察スル人ト雖^レ凡^レ彼我兩端ノ説ヲ知^ラズシテ、學問優等ノ地位ニ達シガタシ、カクシテソノ對敵ノ黨ニ應答シ、已ガ説ヲ扞衛ストイヘ^レ。人々ノ知^ルトコロニシテ、軟弱ナル議論ナリ。○道理ヲ論スルニ、已ガ是ナリトスル説ヲ立ル^{コト}能ハズシテ、他人理論ノ短劣ヲ議シ、行事ノ謬誤ヲ斥ルモノアリ。カクノ如クタバ、他人ヲ非スル理論ヲ、當

時ノ俗ニテ鄙シミ輕ンズ。然^レ凡^レ確實ナル智識ヲ得^ンガ爲^メノ方法トシテ用^ヒンニハ、カクノ如キ人ト雖^レ凡^レ甚ダ貴トビ重ンズベシ。算術及ビ體質ノ學ヲ除クノ外、何ノ學術何ノ^レ教道ヲ論ゼス。善ク難問法ヲ設ケテ教育セラレザルウチハ、思想者ノ大人ハ多ク世ニ出ス。而メ人民大率下流劣品ナルヲ免カレザルベシ。何事ニ限ラズ、凡^ソノ人務テ已ニ敵スル者ト、反復辯論シ、心オヲ長ズルニ非^レバ、所謂智識ト稱セララル、ニ足ルモノハ、得ベカラズ。サルカラニ、モシ已ニ敵スル者アラザルト、自ラ短處ヲ求メ、駁説ヲ作ラザルヲ得ズ。コレ甚ダ難ケレ^レ。至要ニシテ少ベカラザルヲナリ。然レバ、自然ニ已ニ敵スル者出來ル^{コト}アラニ、棄

自求短處
自作駁説
是為至要

長壽聖要
目録
自來聖要

テ取ザルハ、以テ愚ナルコトイカバカリゾヤ。予故ニ以爲ク
世ニ人アリテ、舊説ニ反シ、一體ニ是ト許セル意見ヲ駁セ
バ、以テ人ニ向ヒ、謝辭ヲ陳ベ、心ヲ開キテ、ソノ説ヲ聴ベシ。
且、カク人如キ人ヲ得ルコトヲ悦喜スベシ。何ニトナレバ、縦
ヒ予及ビテ世ノ説、真確ナルモノヲ有ニモセヨ。若シコノ
人アラヌ時ハ、我等自ラ駁辭ヲ作り、難問ヲ設クベキナレ
バ、以テ勞苦ヲ増シテ大ナルベシ。人ノ天賦ノ才、其ノ
コノ上、既ニ他人意見ノ殊異ナルモノヲシテ、己ガ利益ト
シラシムル緣故ノ重ナルモノヲ論ゼシガ、今コトニ尚一
ノ緣故ノ言ハサレバ、カカラザルモノ存セリ。コノ緣故ハ、人
類一齊ニ聰明上進スル一層級ニ至ラザルウチハ、必ズ續

真理有在
反對二說
之中間者

キテ已ザルベシ。而ソコノ層級ニ至ルコトハ、今日ヨリ觀レ
テ、遙遠ニシテ測算スベカラズ。抑モ今マテ特ニ二箇ノ事ヲ論ゼリ。即チ一世ニ是トセラ
ル説、ソノ訛謬ナランモ知ベカラズ。サレバ、マタ他説ノ
出ルモノ、真確ナランモ知ベカラズ。是ニ一舉世ニ是トセラ
ル、説果シテ真確ナリトモ、背反スル謬説ト相闘フトキハ、
ソノ真理明白ニ領悟シ、深クソノ心ニ入ベシ。故ニ敵人ノ
説、緊要ニシテ少ベカラズ。是ニ以上論ズルトコロコレニ
述ルコトハ、二箇ノ事アリ。上ノ二箇ノモノニ比スレバ、多
クアルコトナリ。即チ二箇ノ教道アリテ、互ニ相爭論スルニ
何ヲ真トモ偽トモ定メガタクソノ相反對スルニ説ノ中

間ニ真理ヲ有ツモノナリ。蓋シ一般ニ奉ズル教道タゞ真理ノ一分ヲ占ルニ過ズ。而メツノ餘ノ真理ハコノ教道ニ從ハザル異論ノ中ニ含有セリ。

世ニイフトコロノ公論ハ中ニ真理ノ幾分ヲ含メルノミニシテ。全ク皆真理ナルニ非ズ。時トシテハ多分ノ真理ヲ占メ。時トシテハ少分ヲ占ム。或ハソノ論說過甚ニシテ。真理ニ拗違シ。コレト離ルハアアリ。世ニイフトコロノ異端邪説ハ常ニ世ニ壓抑セラレ。忽畧ニセラレシ真理ヲ含メ。所謂異端邪説トイハルモノ種々アリト雖也。大要ニ類ニ分ツソノ公論中ニ含メル真理ト和睦シ。已ガ真理ヲ伸サント欲スルモノアリ。其至ハ公論ヲ全ク已ニ反

人心常傾于一偏

スル敵ト見テ。コレト争ヒ。自ラ孤立シテ。已ガ説ハ全ク真理大イフモノナリ。今日ニ至ルマデハ。其二ノ如ク議論ヲ立ル人最モ多シ。何トナレバ。人心ハ常ニ一偏ニ傾ク。トニ定リタルモノニテ。諸方ニ向フハ常例ノ外ナリ。サルカラニ。古ヨリ意見議論ノ大ニ變ズル時ヲ見ルニ。一説ハ外リ。一説ハ沈ム。一方ノ真理ハ現レ。一方ノ真理ハ隠ル。教道上進ノ事ニ於テモ。新ナルモノ。故モノニ添ヘ加ハリテ置シタルベキト思フ。モ多クハ新ナルモノ。故ニ代ルモノナリ。即チ舊キ一偏不全ノ真理廢シテ。新シキ一偏不全ノ真理起ルヲナリ。本來ナラバ。新舊トモニソノ真理相和スベキニ。カク外沈廢起スルハ。極善ノ事ニ非ズ。然レヨ

ノ變革ノ度ゴトニコレニ由リテ進益スルコトハナレリ蓋
 シカク一時新說盛シニナリテ舊說衰フルコトハツノ新說
 ニ含メル真理ツノ分量寡シト雖凡甚ダツノ當時必需ノ
 用ニ應ズルコトニ舊說ヲ排シテコレニ代リシナリ凡
 ソ意見議論一時流行スルトキハカクノ如ク一偏ニ倚ル
 コト人心自然ノ情勢ト見ユ故ニタトヒ當時一世ニ是トセ
 ラルハ意見議論實ニ真確ノ理ニ淵源シ移シ易ベカラザ
 ルニモセヨモシ意見議論ノ新ニ出ルモノアリテ舊說ニ
 ナキトコロハ真理ノ一分ヲ有ナレバイカバカリカコ
 レヲ寶重スベキナリタトヒツノ真理ナルモノ許多ノ迷
 謬錯誤ノ中ニ混淆スルトモ固ヨリ揀ビ取ルニ妨ナシ抑

千一
八

モ人世ノ事ニ於テ他人ノ說ニ真理アルコトハモシ他人ノ
 說ヲケレバツノ真理ヲ我等見失ヒシナルベシトコレヲ
 重ンズルニ我等ノ說ニ真理アルコトヲモシ他人ニ忽略シ
 テ省セラレザレバ淡泊ナル人モ惱怒ヲ生ズベキナリ民
 心ヲ得タル真理苟モ一偏ニ倚ルコトヲ免レザルウチハ民
 心ヲ得ザル真理モマタ一偏ニ倚リツノ說ヲ主張スベシ
 否セザレバ勢力ナシ自ラ全體ノ智識ト稱スルモノツノ
 實ハ零碎ノ智識ナルモノニシテ世人ニ嫌ハレナガラ自
 ラ世人ヲシテコレニ着意セシムルコトナルナリ
 サレバ第十八回百年ノ間學者ト不學者トヲ論セス所謂
 開化ノ事トイヘルモノニ驚キ今時ノ文藝學術及ビ理學

ノ新奇ナルヲ稱賛ス。而メ今人ノ古人ト同ジカラザルモ
 ノヲ綜算シ。甚ダ大ニコレヲ重ンジ。遂ニ凡ソ古人ト異ナ
 ルモノハ。盡ク吾意ニ中レリト為テ疑ハザルニ至レリ。蘆
 騷ガ驚奇駭異ノ說ヲ唱フルニ及ンデ。砲丸人衆ノ中ニ爆
 裂スルガ如ク。流俗一偏ノ意見疑テ一塊トナレルモノヲ
 破リ散ジ。再ビソノ意見ノ原質ヲシテ。善形ノモノニ結合
 シ。更ニ新味ヲ以テソノ中ニ含マシメタリ。コノ一大震動
 ノ如キ。舉世ニ健康ナル精神ヲ與ヘシナリ。抑モコノ時一
 世ニ流行スル說蘆騷ノ說ノ真理ニ近ヅケルニ及バザル
 ヲエカトイフニ。サニアラス。時俗ノ說蘆騷ヨリハ。真理ニ
 近ヅキタルノミナラス。ソノ真理ヲ含有スルコト蘆騷ヨリ

多ク。ソノ謬誤蘆騷ヨリ少シ。然ト雖モ蘆騷ノ說ノ中ニ含
 メル真理ハ。時俗ノ說ノ缺タルモノナルガ故ニ。ソノ議論
 ノ川水流レ去ルト雖モ。ソノ真理ノ分ハ。世ニ存シテ泯ビ
 ス。故ニ蘆騷書ヲ著ハシテヨリ以來。人生ノ樸實ヲ第一ニ
 重ニスベキコト。及ビ人造ノ偽善ノ風俗ヲ壊リ。勢力ヲ弱ク
 スルコト。コノ二者ノ如キ。學者ノ心ニ。全ク遺忘セザルコト
 ハナレリ。コレ等ノ功驗。未ダ世ニ發見セザレモ。必ズソヒ
 ニ發見スルノ時アルベシ。當今ノ世。言語ヲ以テコレヲ證
 實スルコト。殆ンド其力既ニ盡タレバ。再ビ行事ヲ以テコレ
 ヲ證實セザルベカラザルナリ。
 國政ヲ商議スルニ於テモ。亦兩箇對敵ノ黨アルコトナリ。ソ

左傳晏平仲論梁丘據同之不可辨和同之異可併參

ノ一ハ規矩ニ循ヒ穩固ヲ務ルモノハ一ハ改革ヲ欲シ
日新ヲ事トスルモノコノ二者トモニ國政ノ爲ニ必要ナ
ル本質ナリ蓋シ各相議論スルニ由テ識見益々大ニナリ
コレハ存守スベキモノコレハ廢除スベキモノトイフ
ヲ明カニ分別スルヲ得ルニ至レリコノ二者各々他ノ一方
ノ短處ヨリシテ吾方ノ利益ヲ考へ出スナリ然レドモ
ノ大分ハ各我ニ抵抗スル說アルニ由テ雙方ノ議論各々
過甚ニ至ラズ道理ノ界限ヲ踰ス健旺ノ精神ヲ保ツ
得ルナリ凡テ世上ニ行ハル事皆兩箇ノ相對スルモノ
アリテツノ釣合ヲ成ス一方ガ輕ク一方ガ重クテハ宜シ
カラズ譬へバ百姓政治ノ說ヲ好ムモノアリ諸侯政治ノ

是之謂中
和是之謂
公平

說ヲ好ムモノアリ人ツノ世業ニ隨テ貴賤ノ差アル說ヲ
好ムモノアリ人ニ貴賤ナクミ大同等ナリトイフ說ヲ好
ムモノアリ彼ト同心協カスベシトイフモノアリ彼ト對
敵シテ勝ヲ爭フベシトイフモノアリ奢華ヲ好ムモノア
リ儉約ヲ好ムモノアリ總體一同ノ上ニ着眼スル說ヲ好
ムモノアリ各自一己ノ上ニ着眼スルヲ好ムモノアリ自
由ヲ好ムモノアリ規則ヲ好ムモノアリ人他カクハ如
ク相對敵シテ立ツモノハ雙方ミナ同様ノ才能同様ノ勢
力同様ノ自由ヲ以テ己ガ說ヲ行ハント務ムベシモシ
然ルレ能ハザレバ雙方ノ主意程能當然ノ中ニ合ハズシ
テ片落ニナリ恰モ天平ノ釣合ガ平ナラスシテ一方ハ上

リ。一方ハ下ルガ如クナルベシ。人生ノ實事ニ於テコレハ真理ナリト知ラル、コハ或ハ寛大ノ量アリテ偏頗ノ心ナキ人ニ反對スル説ヲ斟酌參同セシニ由リ。或ハ各々旌旗ヲ張り辯舌ヲ以テ交戦セシニ由リ。且ツコノ上ニ枚舉スル兩箇相對スル説ノ如キ。何ニテモ此一方ノ説彼一方ノ説ヨリモ世人ニ許容セラレ獎勵セラレテ勢力ヲ得タラシニハ異時黨與ノ衰滅スルハ必ズ此一方ノ説ナリ蓋シ政事即チ人事上ニテ意見ヲ述ベ議論ヲ發スルハ一方ノ利益ノ屈抑セララルモノヲ指陳スルナリ。英國ニテカクノ如キ議論ノ異ナルモノハコレヲ寬許シテツノ説ヲ陳セシム。コレ他大シ意見

名論不磨

一人特異之論必有足聽聞者

ハ種々ニ異ナルモノナルニ頼リ真理ハ四旁ヲ知リ公平ハ處置ヲ行フコトハ機會生ジ來レルナリコレナケルハコト機會至ルニ由ナシサルカラニモシ人アリテ何事ニテモ天下一般ノ説ニ同セズシテ特異ノ論ヲ發スル時ハソノ人ノ言トコロ必ズ聽聞スルニ足ルモノアリト思フベシ。タトヒ天下一般ノ説是ナリトモコノ人ノ言ヲ忽略ニスベカラス。而ノモシ一世ニ異説ヲ言フモノナキトキハソノ異説ヨリ出ヅベキ真理ヲ世人知レベキニ由ナクソノ損失イカバカリゾヤ。或ハコレヲ駁シテカク言ベシ。曰ク然ト雖也古來相傳ル道理就中高尚ニシテ活潑ナル事柄ニ於テハ真理ソノ半ヨリ多分ニ居ル。西教ノ如キハソノ德行

ノ教。全ク皆真理ナリ。而人誰ニテモ德行ヲ教ヘテ。西教ニ異ナルモノハ。全ク皆謬誤ナリ。

コレニ對ヘテ曰ク。西教ニ教ルトコロ。モト此世ノ事ニ非ズ。且ツ新舊約書ニ教ユルトコロノ規法禮儀ハ。特ニツノ一方ノ習ニ適シ。猶太ノ俗ニ隨ヒシモノナレバ。固ヨリコレヨリ賢キ德行禮儀アラバ。コレヲ改メテ妨ナシ。故ニ保羅ハ猶太人ノ解經ノ法ヲ駁シ。大ニ希臘羅馬ノ規法禮儀ヲ取り用タリ。且今日ニ稱スル西教ノ規法禮儀ハ。加特カ教會ニテ次第ニ建設ケ。新教ノ人コレヲ修改セルモノナリ。固ヨリ救主及ビ使徒ノ作レルモノニ非ズ。抑モ西教ノ規法禮儀固ヨリ十分完全ナルモノニ非ズシテ。一方ニ偏

不
言
人
事

謹者曰。彌
氏長於政
事。學不遠
於上帝道。
學如此一
段。余所不
服也。

倚スルモノ少カラズ。而コレニ拘ハラザル意見性情ノ歐羅巴人ノ風俗ヲ造リ出スモノナカリセバ。人生ノ事。今日ノ情形ヨリハ更ニ惡カリシナルベシ。故ニコレ等ノ規法禮儀ヲ定メタル古人ニ。大恩ヲ受ルトイフ。說ハ予敢テ以テ然リトセズ。蓋シツノ所謂規法禮儀ハ。コレヲ為セト命スル邊少ナク。コレハ為ザルト禁スル邊多シ。施シ行フ邊少ナク。堪忍スル邊多シ。高尚ナル邊少ク。害ヲナサ又邊多シ。善ヲ行フ邊少ナク。惡ヲ戒ムル邊多シ。情慾ノ感ヲ恐懼シ。コレヲ防ガント欲スルヨリシテ。草衣木食ノ流ニ入コアリ。人ノ德善ヲ志願ハ。天上ノ望ミ。眞獄ノ懼ヨリ生ズトスルガ如キハ。遙ニ前古ノ極善ナル人又下ニ出ヅ。即チ

慕罕默德
法言人主
不可不知

コレ人ヲシテツノ職分ヲ盡ス心ヨリシテ他人ヲ利スル
コトヲ行ハシムルニ非ズシテツノ自ラ私ジスルノ心ヨリ
シテ他人ヲ利スルコトヲ行ハシムルナリ蓋シツノ教道ハ
忍受順從ノ教道ナリ凡立タル官府ニ服従スベキヲ命ゼ
リ若シ官府ニテ教法ニ背ケルモノヲ命ジテ爲シムル時
ハコレニ從ハズ然レコレニ抵抗スルヲ許サズタトヒ已
等ニ許多ノ非理ヲ加フトモコレニ對シテ叛逆スベカラ
ズトセリ異教ノ國ト雖レ善國ノ教ハ國ノ爲ニ職分ヲ盡
スベキコトヲ重ンズルコト甚シ西教ニ於テハコノ職分ノ一
項ヲ脱畧シタリ法言ニ曰ク凡ソ一國ノ君主國人ヲ擽ン
テ何ノ職ヲ授ケンニモ若ソノ擽バル人ヨリ更ニ勝レテ

ツノ職ニ當ルモノ、國中ニアランニハコノ國主ハ罪ヲ
上帝ニ得マタ罪ヲ闔國ニ得ベシトコノ言ハコトラン
ル作レノ中ニアリテニユテスタメントニハアラザルナリ○
今世ノ修身教ニテ公衆ノ爲ニ職分ノ勤ムベキコトヲ言ハ
希臘羅馬ヨリ發源シ來レルモノニシテ西教ニ非ズマタ
人々一已ニ就テ所謂寬心大量高尚ノ心本身ノ高貴德行
爵キモノト云ガ如シ天氣節ヲ尚ビ廉耻ヲ知ル等ノ如キモノハ
人道ノ教ヨリ生シ出ルモノニシテ法教ニアラザルナリ
人或曰西教ノ中ニ人倫ノ教道盡ク備レリツノ中ニ包含
セザルトコロノモノハ西教ト合一スルコトハ許サレザル
ベシ余オモヘラ以爲ク西教モト塵世ノ教ニ非ズツノ中ニ人倫ノ

規法モアルコナレド。全備スルモノニアラス。ソノ人倫ノ
 規法ヲ言ルモノ。特ニ真理ノ一分ヲ含有スルノミ。然ルニ西
 教ニ含有セザルトコロハ。人倫ノ教道トシテハ用ヘカラ
 ストイフハ。大ナル誤ナリ。カクノ如キ狹隘ナル理論ハ。善
 人君子ノ。カヲ極メテ教訓ヲ設ケ。益々一世ヲ善スル事ヲ
 妨グル細小ナラス。予尤モ懼ル。コトハ。世人專ハラ法教ノ
 模範ニ泥ミ。世俗ノ教訓ヲ廢セントセバ。必ズ卑賤ナル模
 範ヲ生ジ出スベシ。自ラハ至大ノ上帝ノ旨ニ合フベシト
 志ザセドモ。コレニテハ。畢竟上帝至大ノ仁善ヲ料リ知リ。
 ソノ情性ト合一ナランコトヲ求ムトモ得ベカラザルナリ。
 元來西教ハ。固ヨリ靈魂ヲ救フノ道ニシテ。此世ノ事ニ非

種々意見
 不相同者
 決不可無
 真理由是
 而出進益
 由是而得

ズ。故ニ人倫ノ善教ハ。西教ヨリ出ザルモノト雖也。並ビ行
 ハレテ相悖ラザルベキコトナリ。法言ニ曰ク。世上ノ人心未
 ダ十分完全ナル情形ニ至ラザルウチハ。真理ヲ求メ進益
 アランコトヲ欲スルニ。相同カラザル種々ノ意見アルベキ
 コト要ス。トイヘルコト。西教ト雖也。コノ規法ニ漏ル。コトナカ
 ルベシ。既ニ西教ニ含有セザル人倫ノ真理ヲ知ザルベカ
 ラズトイヘバ。西教ニ含有スルモノ。マサニ知ルベキハ
 勿論ナリ。蓋シコノ上ニイヘル。或人ノ言ノ如キ偏見謬說
 ニ階ルコトハ。世道人心ヲ善スルヲ妨害スル甚シキ弊害ナ
 リ。然レ吾人ノ入ヤス。免カレガタキモノナレバ。常ニ着
 意シテ戒メザルベカラズ。○真理ノ一分ヲ得タルニ過ズ

シテ真理ノ全體ヲ得タル如ク。獨リ自ラ誇張スル説ハ。コレヲ拒ギソノ不是ヲ説明サザルベカラズ。モシ彼ヨリ背逆ノ言ヲ以テ。我ニ回應セバ。彼ノ一方ニ偏執シタルコトヲ惜ミ哀シムベシ。然レマタコレヲ許シ置クベシ。西教ノ士。モシ西教ヲ信ゼザル人ハ。已等ヲ待スルニ公平ナルベキヲ欲セバ。已等ガ西教ヲ信ゼザル人ヲ待スルニ公平ナルベキヲ要ス。イカニトナレバ。人倫ノ善教ヲ著ハセル人ニシテ。西教ヲ知ラズ。西教ヲ排斥スル人多シ。蓋シ西教ハ靈魂ヲ救フノ事ニシテ。肉體ノ事ニ非ズ。永生ノ事ニシテ。今生ノ事ニ非ズ。ソノ中ヨリ。今生ノ善教モ出ルコトナレド。盡クソノ中ニ備具ストスルハ。大ナル惑ナリ。

西教ハ靈魂ヲ救フノ事ニシテ。肉體ノ事ニ非ズ。永生ノ事ニシテ。今生ノ事ニ非ズ。ソノ中ヨリ。今生ノ善教モ出ルコトナレド。盡クソノ中ニ備具ストスルハ。大ナル惑ナリ。

辛未六月三日

問フ意見ヲ立議論ヲ發スルコト。既ニ十分ノ自由ヲ得タラシニハ。理學家及ビ法教人。別ニ異説ヲ始ムルノ弊ハ止ムベシヤ。答テ曰ク。否否。才量褊小ナル人ノ言フニテモ。熱心ニ考思シ異説ヲ立ルコトハ。ソノ中ニ必ず真理ヲ含メリ。故ニ自由ニ議論スルコトヲ得バ。異説ハソノ真理ヲ顯サント欲シマス。已ニ反對抵抗スル論ト相激シテ。盛ニ興ルベシ。予ガ所見ニテハ。カク種々ノ意見相觸激スルハ。世上ニ健康ナル精神ヲ振ヒ起ス。コトニテ。安静緘黙スルニ愈々萬ナリ。蓋シ怕ルベキ大害ハ。雙方ノ真理ノ互ヒニ相論駁スルニ非ズシテ。一方ノ真理ノ抑壓セラレ。聲息ヲ出サズルニアリ。サルカラニ。人民雙方ノ説ヲ聞トキハ。常ニ望ム

異説之紛起。可以徵世人有健旺精神。愈于安静緘黙萬々。

自由ニ望ム

五十五

ベキノ善事アリ。人民一方ノ説ニノミ注意スルトキハ始
 ニシテ謬誤トナリ。終リニシテ偏執固滞トナリ。ソノ中ニ含
 ル真理モ餘ニ張皇シ過ルニ由テ。化シテ荒唐トナリ。真理
 カ真理ノ用ヲ做ヌコナリ。夫人タトヒ公平ニ裁判スル才
 能アリト雖モ。兩説アル疑案ヲ審斷スル時。モシ一説ノ方
 ニハ公事師アリテ。一説ノ方ニハ公事師ナカラシニハ。公
 事師ナキ一方ノ真理ヲ看出ス。難カルベシ。蓋シ種々ノ
 意見。各々真理ノ零片ヲ有テルコト。二。兩説相對スルト
 キハ。各々巴ニ荷擔スル公事師ヲ求メ。裁判スル人ヲシテ。
 雙方ノ説ヲ公平ニ聽シムベシ。
 我既ニ四種ノ緣故ヲ推シテ。意見ノ自由。及ビ意見ヲ言ヒ

顯ハスノ自由ハ。人生ノ福祉ヲ増ガ爲ニ。必要ニシテ欠カ
 カラザルコトヲ論ゼリ。今コレヲ簡短ニ再ビ説ベシ。
 第一ニ。何ノ意見ニテモ。世間一統ニ抑壓セラレ。巴ヲ得ズ
 シテ緘黙スルコトアリトモ。ソノ抑壓セラル。意見ニ真確
 ノ理ナシト云ベカラズ。○モシコレヲ承認セズシテ。抑壓
 セラル。意見ニ。真理ナシト言バ。コレ自ラ一己ノ説ヲ謬
 誤アラスト擅ニ定ムルナリ。
 第二ニ。モシ禁制シテ緘黙セシムル意見議論。實ニ迷謬ナ
 ルニモセヨ。ソノ中ニ必ズ真理ノ一分ヲ含有スベシ。故ニ
 コレヲ禁制スルトキハ。ソノ一分ノ真理ノ。世ニ顯ハル。ハ
 ヲ塞グコナリ。シカノミナラス。世間一統ニ流行スルトコ

蘇邦三論
蘇公平林

口ノ意見議論何ノ宗門何ノ學科ニ限ラズ決シテ真理ノ全體ヲ盡スモノニアラス決シテコノ外ニマタ真理アラズトハ言ガタシ故ニソノ真理ノ残りテ未ダ顯ハレザルモノハタゞ吾意ニ逆フ意見議論即チ聞慣ザル説ト相抵觸スルニ由テ世ニ顯ハレ出ルコナリコレヲ除キテ外ニ今マテ缺乏シタル真理ヲ填補スベキ機會アルベカラズ

第三キ今マテ世上一般ニ定案ト許セル意見タトヒ真理ノ全體ヲ具ヘ一モ欠ルトコロナキニモセヨモシ異説ヲ唱ル人ノ精神ヲ振ヒ氣カヲ出シテコレト相争フモノアラザレバソノ定案ノ意見ヲ傳受ル人タゞ偏執固守スルノミニシテソノ道理ノ根源ヲ理會スル能ハザルニ至ル

ベシ

第四ニ他人ヨリ駁争ヲ受ザレバソノ教道ノ意ヲモ失ヒ或ハ堅固ニ知ル能ハザルニ至ルベシソノ品行ニ發スルモノ活潑生動セズソノ守ルトコロノ教條特ニ外面ノ禮法トナレルノミニテ善事ヲ作スニカナク中心ノ確知道理ノ實證及ビ親歷ノ經驗カクノ如キモノ生長スルヲ妨グベシ

意見ノ自由ノ事ヲ論ズルコト以上畧備ハルコノ卷ヲ終ルニ臨ミ今一言ベキモノアリ凡ソノ自由ニソノ意見ヲ言ヒ出スニ温和ナル性度ヲ傷ルベカラズ公平ナル議論ノ限界ヲ過ベカラス然ル人多ク當ニ言ベシコノ限界ハ何ニ

議論之間
宜温和公
平

置ベキトイフヲ甚ダ定メガタシト且ツ予思ニ人誰ニテ
モ已ガ論ニ異ナル人ヨリ強ク排撃セラレテ已コレニ應
答スル能ハザルトキハ必スツノ對敵ノ人ヲ温和ナラス
公平ナラザルモノト思フベシ故ニコノ限界ヲ設ルハ能
シ難キノ事ナリ然ルニモセヨ彼此議論スル間ニ温和公
平ナルモノヲ存セザルベカラズ人ノ自己ノ意見ヲ死守
シ固クコレヲ是ナリト言張ルハ大ナル過失甚ダ惡キ
式法ナリツノ最モ甚シキ過失ニ至リテハ或ハ巧ニ詐リ
テ議論ヲ爲シ或ハ他人ノ實証アル議論ヲ壓抑シ或ハ議
論スル事理ノ本原ヲ錯リ或ハ對敵ノ人ノ意見ヲ枉テ正
直ニ言顯ハサツル等ナリ然ルニカクノ如キ惡シキ議論ノ

式法世ニ行ハレ卓絶ノ才智アル人ト雖也恰好シタル境
地ニ立住シ過甚誣讒ノ論ヲ爲ザルモノ甚ダ稀ナリサリ
トテ政府ノ律法ヲ以テコノ議論ノ式法ノ事ニ立入ルハ
擅マハニツノ分外ヲ踰ルトニテナホ更爲得ベキニアラ
ズ

放逸無度ノ議論即チ罵詈譏刺ノ語ヲ用フルヲ雙方相
互ニ戒シメ禁ズルハ當然ノ事ナリ然ルニ世ノ情態ヲ觀
ルニ世上一般ニ流行スル意見ニ敵對シテ異說ヲ言フ人
ノミヲバ罵詈譏刺ヲ用フルヲ禁ジ公論ニ黨シテ異說ヲ
排スル人ニハコレヲ禁ゼザルノミナラス却テコレヲ用
ルモノヲ譽テ正經ノ熱心公義ノ憤怒ナドトイヘルハ大

ナル不公不正ナリ。甚シキニ至リテハ。流行スル説ニ背ケルモノヲ。惡人ノ如ク。邪説妄行ノ如クニ譏リ。人民ノコレニ聽從スルモノヲ。恐赫オドロクシイマシム禁戒セリ。コレニ反シテ。流行スル意見ヲ。駁スル人ハ。罵詈譏刺ヲ用ルトキハ。反ツテ已ニ跳リ返ルコトユエニ。大抵ハコレヲ爲ザルノミナラス。適宜ノ言語ヲ用ヒ。慎ンデ無用ノ冒犯ヲ避ルコトナリ。抑モ真理公道ニ合ヒタル一方ニ於テ。他ノ一方ノ説ヲ駁論スルニ。自ラ禁止シテ。責罵ノ詞ヲ用ヒザレバ。ソノ利益タルコト。更ニ多カルベシ。元來コレ等ノ事ハ。官府ノ律法權勢ヲ以テ料理スベキコトニ非ズシテ。人民各自ラソノ意見ヲ述ベ。議論ヲ發スルコトナレバ。ソノ式法ノ善惡ヲ察シテ。コレヲ判斷

法 議論之禮
 議論 縱破
 禮法 猶愈

取舍スベシ。蓋シ議論ノ常ニ一偏ニ倚モノ。假詐ニシテ誠實ナラザルモノ。毒惡ノ心アルモノ。執一拘泥ナルモノ。異説ヲ容忍スルノ量ナキモノ。コレ皆責メ咎ムベキモノナリ。然レニ已ガ説ニ反對スルモノト雖モ。敢テ非禮ヲ以テコレニ加ヘズ。心ヲ平ニシ氣ヲ静ニシテ。已ニ抗敵スル人ノ意見ヲ聽善ソノ實ヲ察シ。吾非ナリトスルモノヲ駁スト。雖モ過甚ナラス。荒唐ナラス。講スルソノ實ニ過ズ。他人ノ方ニ順便ナル事ヲ言モノアリトモ。決シテ一モコレヲ阻礙スルコトナシ。コレヲバ議論ヲ爲ス。眞實ノ禮法トスルコトナリ。若シ屢々コレヲ犯シ破ルモノアリモ。予コレニ由テ。サテハ。世ニ許多ノ辯論ヲ好ム人アリテ。或ハコレヲ守ル

モノ大分ニ居リ。マタコレニ向テツノ本心ノマヽニ争フ
 モノ。更ニ多ク大數アルニゾト。コレヲ思フモ喜バシカル
 ベシ。タトヒ議論禮法ニ背クトモ。大真實ノ弊去ラズル
 總體緘黙スルニ勝レル遠シ。

自由之理卷之二終

